

**2015年度 いわき明星大学学生生活満足度調査**  
**[報告書]**

**2016年3月1日**

## も く じ

1. はじめに	・・・	3
2. 調査概要	・・・	4
3. 調査結果		
(1)基本項目	・・・	5
(2)本学の選択理由、満足度、期待要望	・・・	8
(3)経済状況	・・・	13
(4)学生生活	・・・	18
(5)課外活動	・・・	21
(6)進路就職	・・・	27
(7)不安悩み	・・・	29
4. 調査項目	・・・	33

## はじめに

今回の調査は、学修支援システム「manaba」を利用し、Web入力での回答を求める調査方法で実施しました。平成27年9月12日現在の在籍学生1062名中、460名の回答があり、回答率は43.3%で半数に満たないものでありましたが、学生生活の一端を把握できる結果であったと思われます。

その中でも、特に就職進路についての不安で、「現状の能力の不安」を抱えている学生が多いという結果は、全国的な傾向(私立大学学生白書2015)とは異なるものであり、今後の学生指導や施策に参考とすべき事項でしょう。内容の分析にあたっては、過去のデータや他の資料との比較などが詳細にできず、集計が中心になってしまったことは、この調査において「今の」本学学生の特徴を浮き彫りにできなかった、という反省事項であります。

今後も社会環境の変化により学生の多様化が更に進んでいくものとおもわれます。大学としても学生のニーズを的確に把握し、変えるべきもの、変えざるべきものを検討し、実行していくことが必要であると思います。その施策にあたって、この調査結果が有効に活用されることを願います。

最後に、本調査にご協力頂いた学生諸君に厚く御礼申し上げます。また、実施、集計、分析を行うにあたり、就職学生委員会委員及び関係スタッフの皆様方に心より厚く御礼申し上げます。

平成28年3月

就職・学生委員会  
委員長 五十嵐幸一

## いわき明星大学学生生活満足度調査

### 1. 調査の目的

いわき明星大学の教育目標全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成を達成するために、本学に籍を置く学生が大学生活で直面する諸課題を解決し、より快適なキャンパスライフを具現化するための基礎資料とするため、学生意識、生活実態等について学生生活満足度調査を行う。

### 2. 調査対象

2015年9月12日現在で在学する全学部・研究科学生1062名を対象とする。

### 3. 調査時期

2015年9月12日(土)～2015年9月19日(土)

### 4. 調査方法

学修支援システム「manab@」を利用しWeb入力により回答

### 5. 調査内容

(1)基本項目

(2)本学の選択理由、満足度、期待要望

(3)経済状況

(4)学生生活

(5)課外活動

(6)進路就職

(7)不安悩み

### 6. 調査の組織

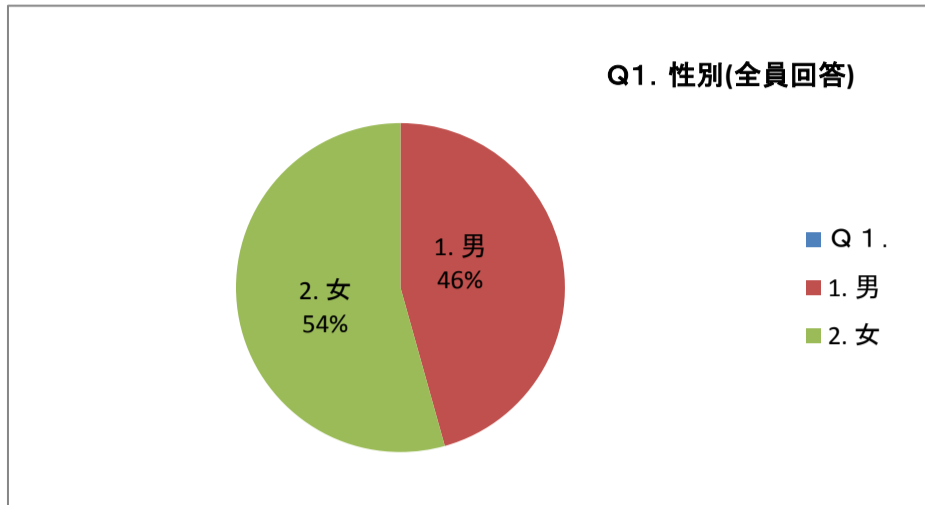
就職学生委員会の事務担当である教務学生支援センターが作業を行う

### 7. 回答状況

1062名中460名の回答があった。回収率43.3%。

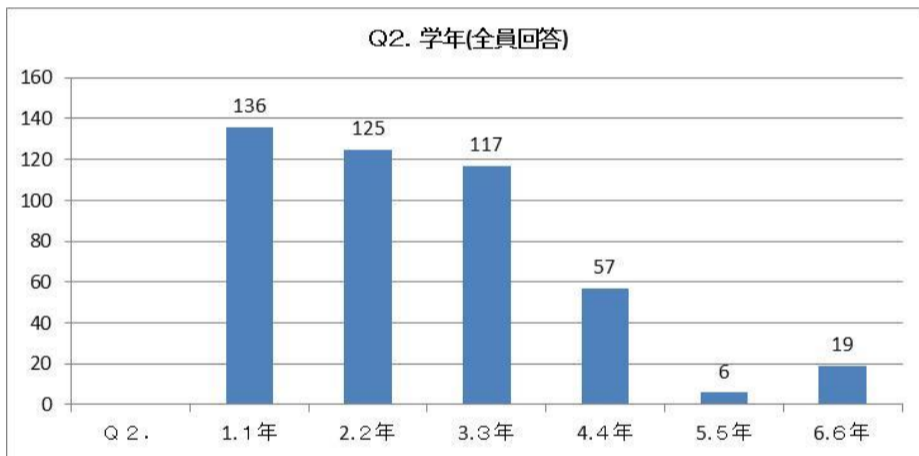
(1)基本項目

Q1. 性別(全員回答)	全学生数	回答数	回答率
1. 男	608	210	34.5%
2. 女	454	250	55.1%
計	1062	460	43.3%



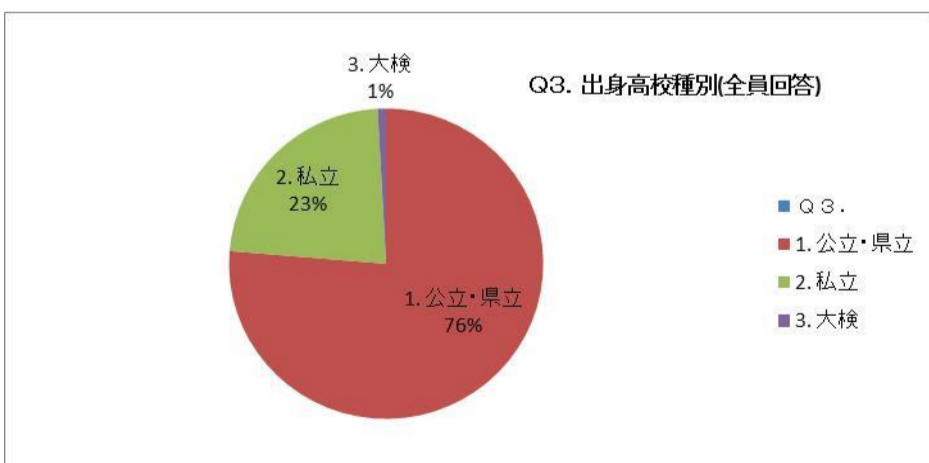
全学生1062名を対象に調査を実施し、有効回答率は男性34.5%、女性55.1%、全体43.3%であった。  
 全学生数1062名の男女比は男性57.3%で6割弱、女性42.7%で約4割。  
 回答率は男女比に反し女性の回答率が男性よりも上回っており、女性が積極的に回答した。

Q2. 学年(全員回答)	全学生数	回答数	回答率
1. 1年	201	136	67.7%
2. 2年	267	125	46.8%
3. 3年	228	117	51.3%
4. 4年	208	57	27.4%
5. 5年	44	6	13.6%
6. 6年	114	19	16.7%
計	1062	460	43.3%



学年別の内訳では、今年度入学生からタブレット端末を配付し、manab@も授業等で積極的に利用していることもあり、1年生が67.7%で一番回答率が良く、7割弱。それ以外の学年については年次が上がるにつれ回答率は低下傾向であった。

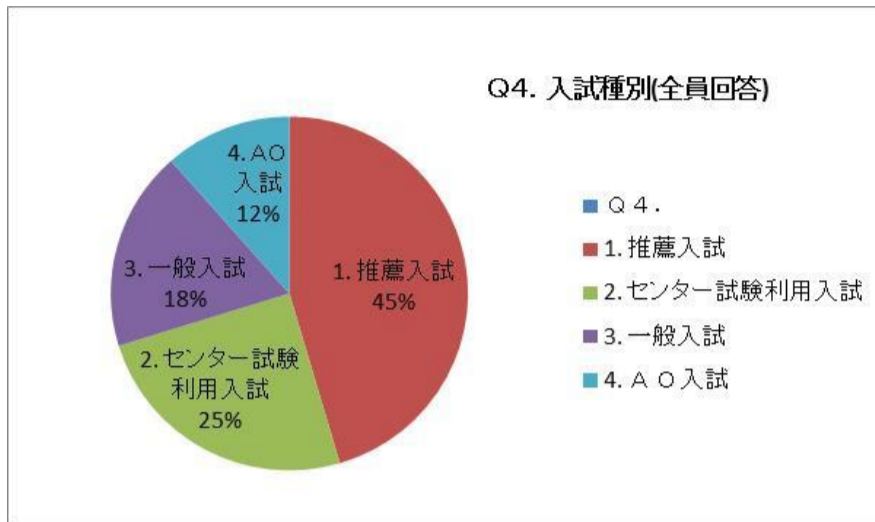
Q3. 出身高校種別(全員回答)	回答数	割合
1. 公立・県立	351	76.3%
2. 私立	105	22.8%
3. 大検	4	0.9%
計	460	460=100%



回答者の出身高校をみると、福島県内及び隣県の高校進学状況では約80%の生徒が県立高校へ進学しており、本学への入学においても同様の状況となっている。特に市内の私立高校は4校と少なく、今後も県立高校からの進学がメインと考える。

Q4. 入試種別(全員回答)

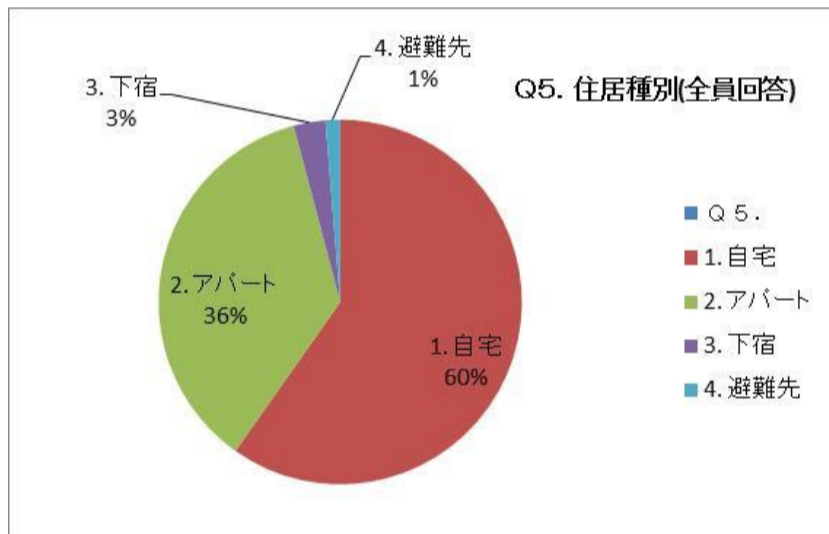
1. 推薦入試	209	45.4%
2. センター試験利用入試	114	24.8%
3. 一般入試	84	18.3%
4. AO入試	53	11.5%
計	460	460=100%



専願入試(推薦入試、AO入試)の割合(57%)が若干多い。  
 続いて、センター試験利用入試(25%)、一般入試(18%)と続く。

Q5. 住居種別(全員回答)

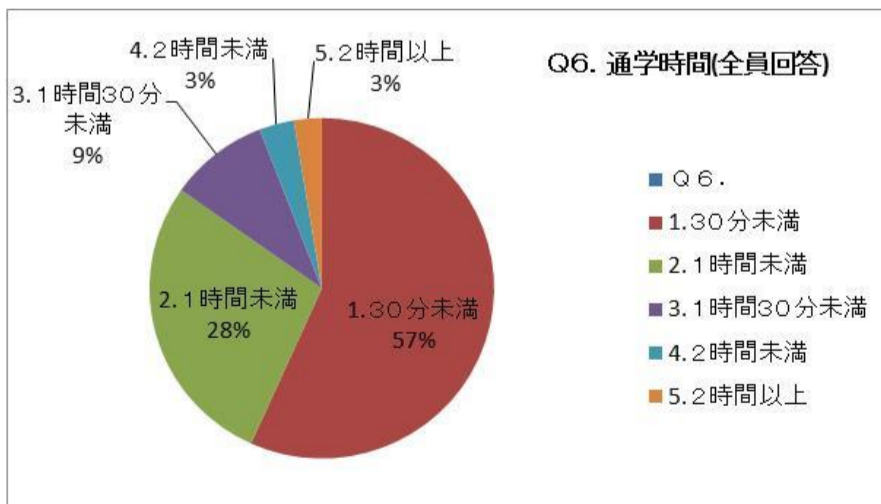
1. 自宅	275	59.8%
2. アパート	166	36.1%
3. 下宿	13	2.8%
4. 避難先	6	1.3%
計	460	460=100%



60%が自宅からの通学で40%がアパート・下宿でのひとり暮らしで自宅通学学生の割合が多い。  
 東日本大震災、原発事故等の影響により避難先からの通学学生も若干名いる。

Q6. 通学時間(全員回答)

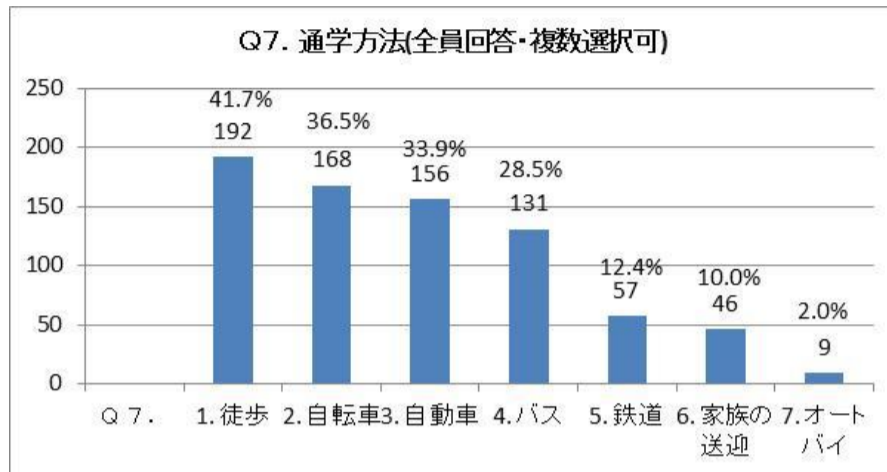
1. 30分未満	261	56.7%
2. 1時間未満	129	28.0%
3. 1時間30分未満	43	9.3%
4. 2時間未満	15	3.3%
5. 2時間以上	12	2.6%
計	460	460=100%



80%強の学生が1時間の通学圏内から登校している。

Q7. 通学方法(全員回答・複数選択可)

1. 徒歩	192	41.7%
2. 自転車	168	36.5%
3. 自動車	156	33.9%
4. バス	131	28.5%
5. 鉄道	57	12.4%
6. 家族の送迎	46	10.0%
7. オートバイ	9	2.0%
計	759	460=100%

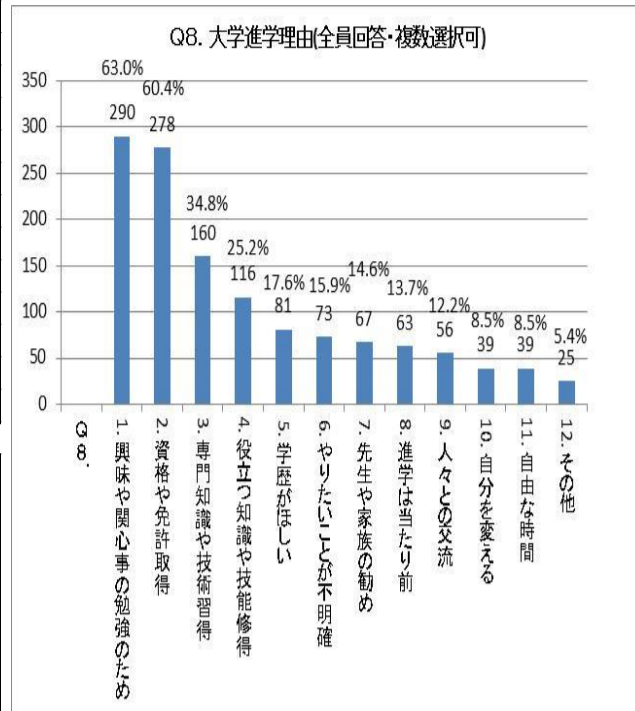


自転車と自動車での通学者がそれぞれ30%強で、鉄道、バス等の公共交通機関を利用したの通学が約40%。また、10%の学生が家族の送迎で通学している。

(2) 本学の選択理由、満足度、期待要望

Q8. 大学進学理由(全員回答・複数選択可)

1. 興味や関心事の勉強のため	290	63.0%
2. 資格や免許取得	278	60.4%
3. 専門知識や技術習得	160	34.8%
4. 役立つ知識や技能修得	116	25.2%
5. 学歴がほしい	81	17.6%
6. やりたいことが不明確	73	15.9%
7. 先生や家族の勧め	67	14.6%
8. 進学は当たり前	63	13.7%
9. 人々との交流	56	12.2%
10. 自分を変える	39	8.5%
11. 自由な時間	39	8.5%
12. その他	25	5.4%
計	1287	460=100%

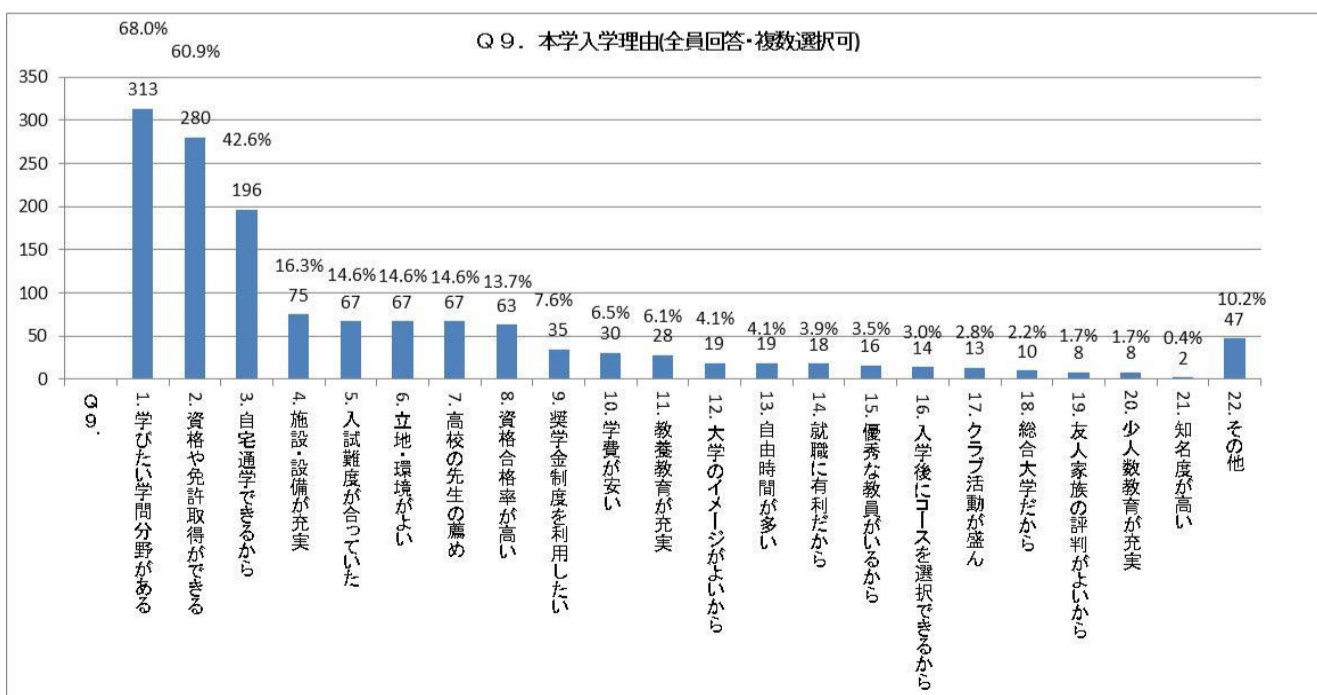


半数以上の学生が興味や関心事の勉強、資格や免許取得を理由として進学した。また、15%の学生はやりたい事が不明確で進学した。

Q9. 本学入学理由(全員回答・複数選択可)

1. 学びたい学問分野がある	313	68%
2. 資格や免許取得ができる	280	61%
3. 自宅通学できるから	196	43%
4. 施設・設備が充実	75	16%
5. 入試難度が合っていた	67	15%
6. 立地・環境がよい	67	15%
7. 高校の先生の薦め	67	15%
8. 資格合格率が高い	63	14%
9. 奨学金制度を利用したい	35	8%
10. 学費が安い	30	7%
11. 教養教育が充実	28	6%
12. 大学のイメージがよいから	19	4%
13. 自由時間が多い	19	4%
14. 就職に有利だから	18	4%
15. 優秀な教員がいるから	16	3%
16. 入学後にコースを選択できるから	14	3%
17. クラブ活動が盛ん	13	3%
18. 総合大学だから	10	2%
19. 友人家族の評判がよいから	8	2%
20. 少人数教育が充実	8	2%
21. 知名度が高い	2	0%
22. その他	47	10%
計	1395	460=100%

Q8の大学進学理由と同様に半数以上が、学びたい学問分野があること、資格や免許取得を目的として本学に入学している。自宅通学できるから、という理由の学生も40%以上いる。



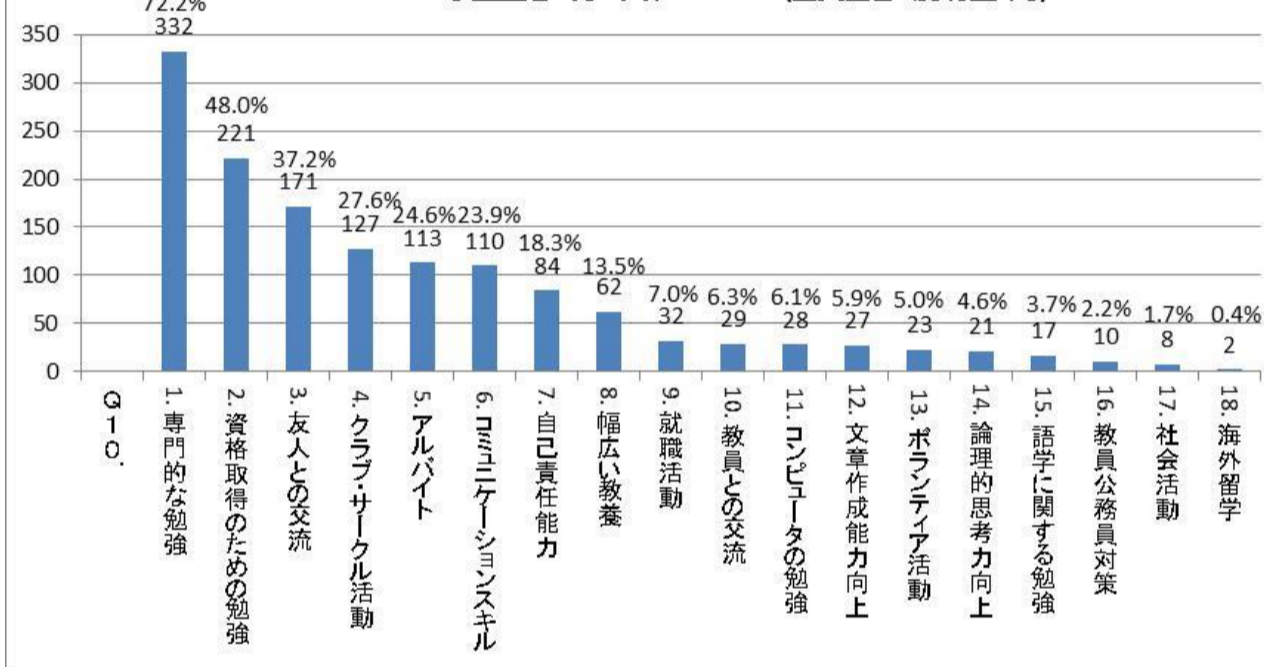


Q10. 学生生活で力を入れていること(全員回答・複数選択可)

1. 専門的な勉強	332	72.2%
2. 資格取得のための勉強	221	48.0%
3. 友人との交流	171	37.2%
4. クラブ・サークル活動	127	27.6%
5. アルバイト	113	24.6%
6. コミュニケーションスキル	110	23.9%
7. 自己責任能力	84	18.3%
8. 幅広い教養	62	13.5%
9. 就職活動	32	7.0%
10. 教員との交流	29	6.3%
11. コンピュータの勉強	28	6.1%
12. 文章作成能力向上	27	5.9%
13. ボランティア活動	23	5.0%
14. 論理的思考力向上	21	4.6%
15. 語学に関する勉強	17	3.7%
16. 教員公務員対策	10	2.2%
17. 社会活動	8	1.7%
18. 海外留学	2	0.4%
計	1417	460=100%

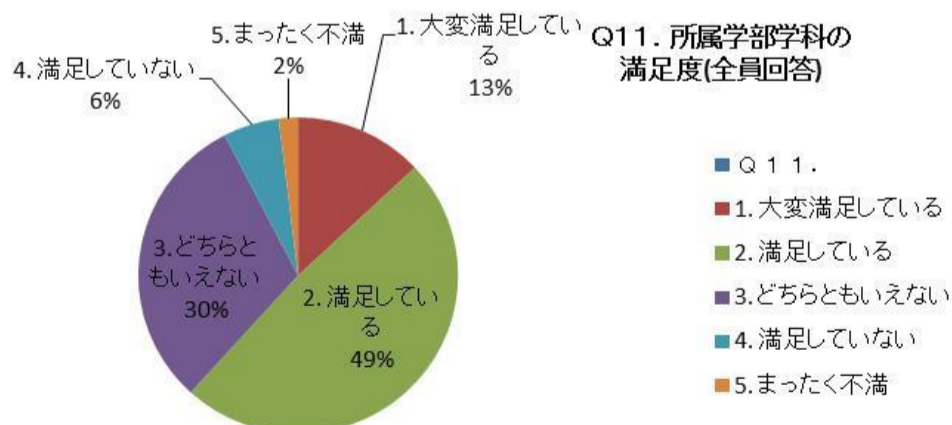
回答した学生のうち、72.2%の学生が、「専門的な勉強」に力を入れていると回答している。「資格取得のための勉強」、「友人との交流」が次に多い回答で「ボランティア活動」「社会活動」「海外留学」等、大学の外へ向けての活動は少ない。

Q10. 学生生活で力を入れていること(全員回答・複数選択可)



Q11. 所属学部学科の満足度(全員回答)

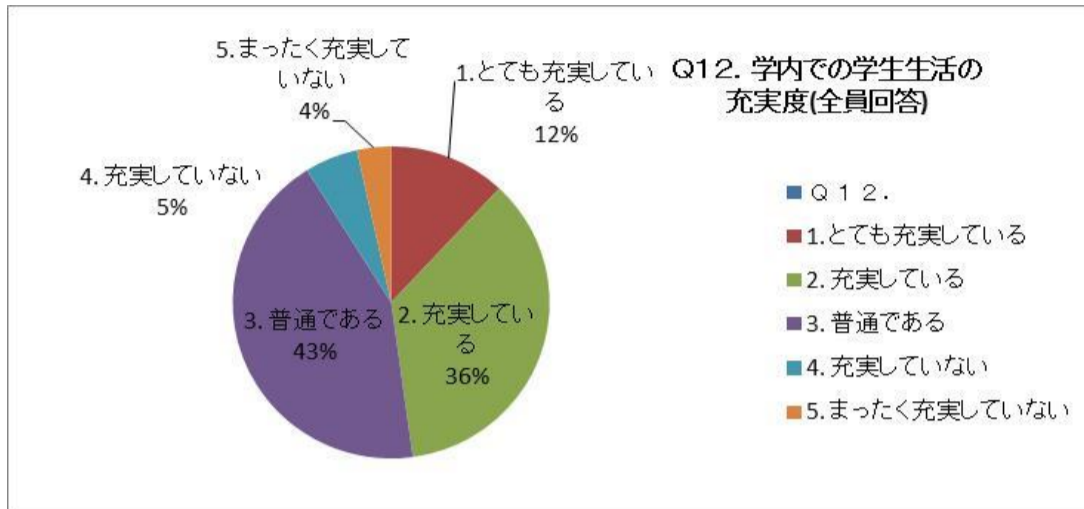
1. 大変満足している	60	13.0%
2. 満足している	224	48.7%
3. どちらともいえない	141	30.7%
4. 満足していない	26	5.7%
5. まったく不満	9	2.0%
計	460	460=100%



「大変満足してる」と「満足している」を加えると、62%の学生が、自分の所属する学部学科に満足していると回答。一方、「満足していない」「まったく不満」と答えた学生は8%だった。

Q12. 校内での学生生活の充実度(全員回答)

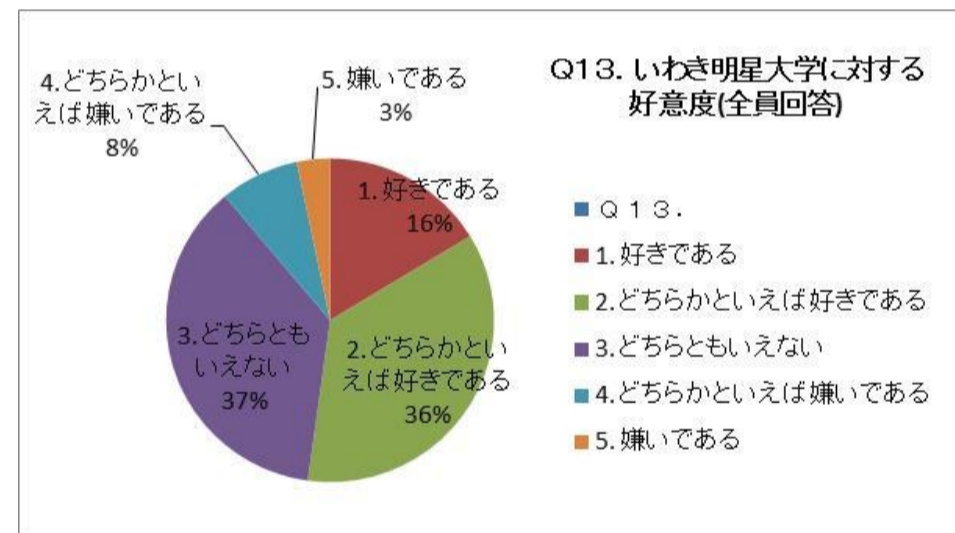
1. とても充実している	55	12.0%
2. 充実している	165	35.9%
3. 普通である	199	43.3%
4. 充実していない	25	5.4%
5. まったく充実していない	16	3.5%
計	460	460=100%



「とても充実している」「充実している」を合わせると、回答した学生の48%が、充実した学生生活を送っていると答えている。一方、「充実していない」「まったく充実していない」と答えた学生は9%。

Q13. いわき明星大学に対する好意度(全員回答)

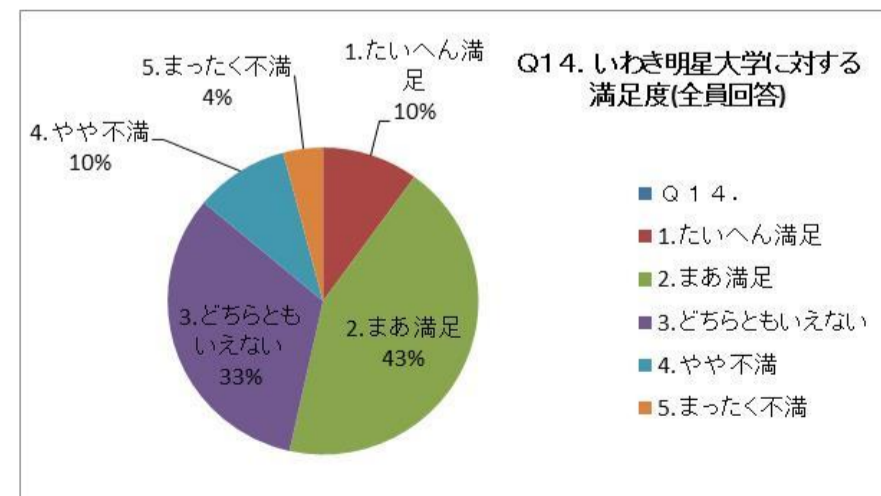
1. 好きである	75	16.3%
2. どちらかといえば好きである	165	35.9%
3. どちらともいえない	169	36.7%
4. どちらかといえば嫌いである	36	7.8%
5. 嫌いである	15	3.3%
計	460	460=100%



「好きである」「どちらかといえば好きである」を合わせると、52%の学生が本学に対して好意的であるという結果が出ている。一方、「どちらかといえば嫌いである」「嫌いである」と答えた学生は12%。

Q14. いわき明星大学に対する満足度(全員回答)

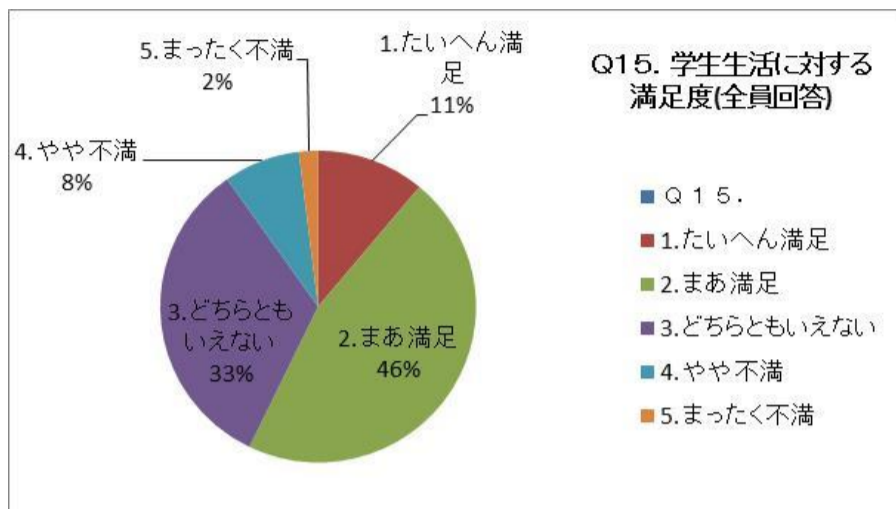
1. たいへん満足	46	10.0%
2. まあ満足	200	43.5%
3. どちらともいえない	150	32.6%
4. やや不満	45	9.8%
5. まったく不満	19	4.1%
計	460	460=100%



「たいへん満足」「まあ満足」を合わせると、53%の学生が本学に対して満足と回答した。一方、「やや不満」「まったく不満」だと答えた学生は14%。

Q15. 学生生活に対する満足度(全員回答)

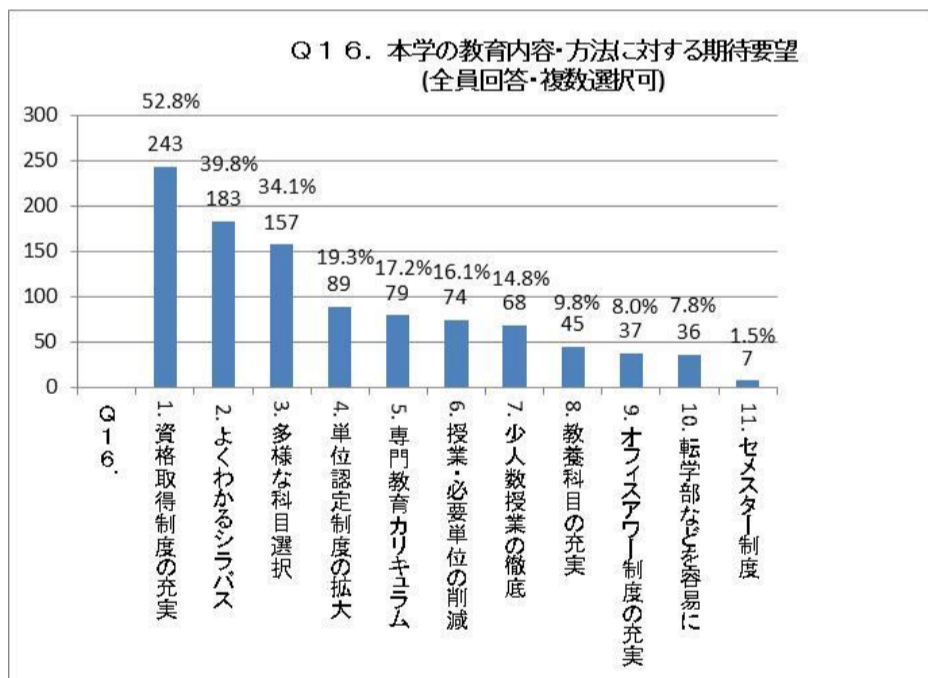
1. たいへん満足	51	11.1%
2. まあ満足	212	46.1%
3. どちらともいえない	152	33.0%
4. やや不満	36	7.8%
5. まったく不満	9	2.0%
計	460	460=100%



「たいへん満足」「まあ満足」を合わせると、57%の学生が学生生活について満足であると回答している。一方、「やや不満」「まったく不満」だと答えた学生は10%。

Q16. 本学の教育内容・方法に対する期待要望(全員回答・複数選択可)

1. 資格取得制度の充実	243	52.8%
2. よくわかるシラバス	183	39.8%
3. 多様な科目選択	157	34.1%
4. 単位認定制度の拡大	89	19.3%
5. 専門教育カリキュラム	79	17.2%
6. 授業・必要単位の削減	74	16.1%
7. 少人数授業の徹底	68	14.8%
8. 教養科目の充実	45	9.8%
9. オフィスアワー制度の充実	37	8.0%
10. 転学部などを容易に	36	7.8%
11. セメスター制度	7	1.5%
計	1018	460=100%

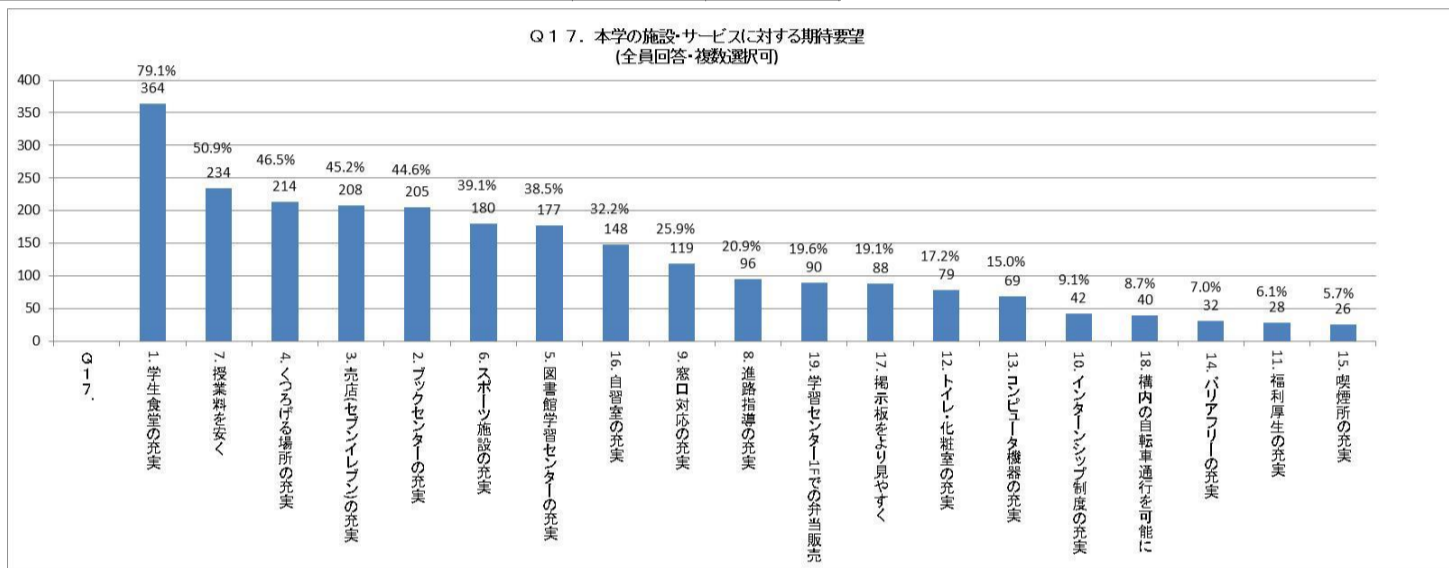


資格取得制度の充実を半数以上の学生が期待している。約4割の学生がシラバスの改善要望がある。

Q17. 本学の施設・サービスに対する期待要望(全員回答・複数選択可)

1. 学生食堂の充実	364	79.1%
7. 授業料を安く	234	50.9%
4. くつろげる場所の充実	214	46.5%
3. 売店(セブンイレブン)の充実	208	45.2%
2. ブックセンターの充実	205	44.6%
6. スポーツ施設の充実	180	39.1%
5. 図書館学習センターの充実	177	38.5%
16. 自習室の充実	148	32.2%
9. 窓口対応の充実	119	25.9%
8. 進路指導の充実	96	20.9%
19. 学習センター1Fでの弁当販売	90	19.6%
17. 掲示板をより見やすく	88	19.1%
12. トイレ・化粧室の充実	79	17.2%
13. コンピュータ機器の充実	69	15.0%
10. インターンシップ制度の充実	42	9.1%
18. 構内の自転車通行を可能に	40	8.7%
14. バリアフリーの充実	32	7.0%
11. 福利厚生の充実	28	6.1%
15. 喫煙所の充実	26	5.7%
計	2439	460=100%

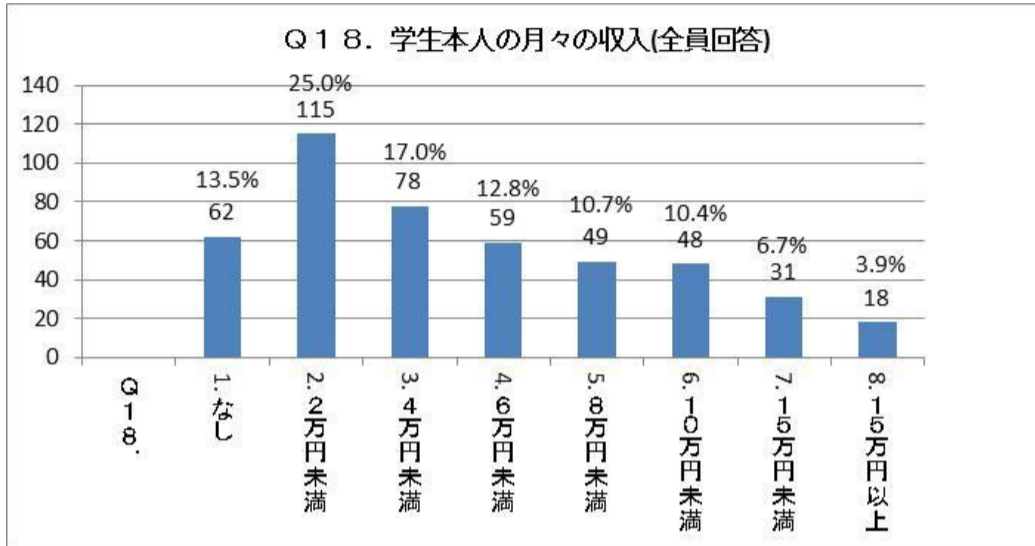
約8割の学生が学生食堂の改善を希望している。くつろげる場所の充実や売店、書店の学生厚生施設の充実希望も高い。



(3)経済状況

Q18. 学生本人の月々の収入(全員回答)

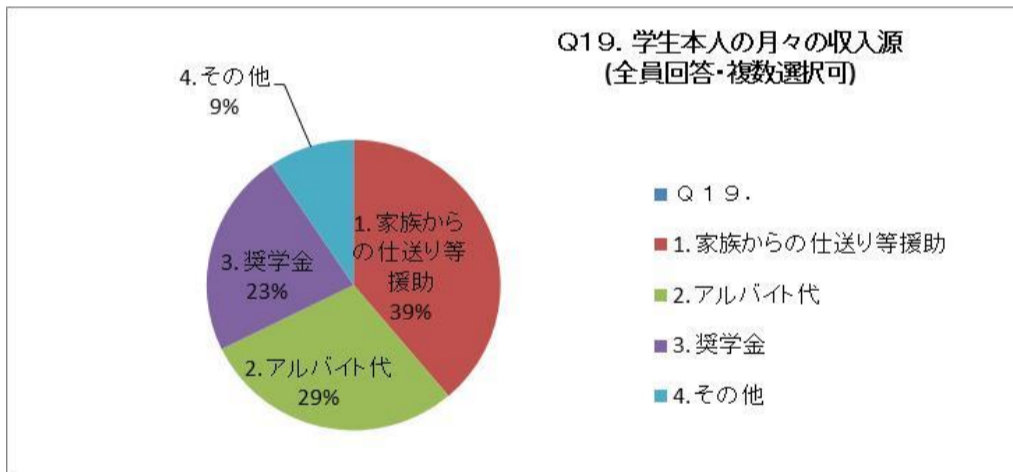
1. なし	62	13.5%
2. 2万円未満	115	25.0%
3. 4万円未満	78	17.0%
4. 6万円未満	59	12.8%
5. 8万円未満	49	10.7%
6. 10万円未満	48	10.4%
7. 15万円未満	31	6.7%
8. 15万円以上	18	3.9%
計	460	460=100%



学生の1カ月の収入状況は、「2万円未満(25.0%)」が最も高く、次いで、「4万円未満(17.0%)」と続き、10万円以上の収入を得ている学生は約10%である。収入がない学生は13.5%である。

Q19. 学生本人の月々の収入源(全員回答・複数選択可)

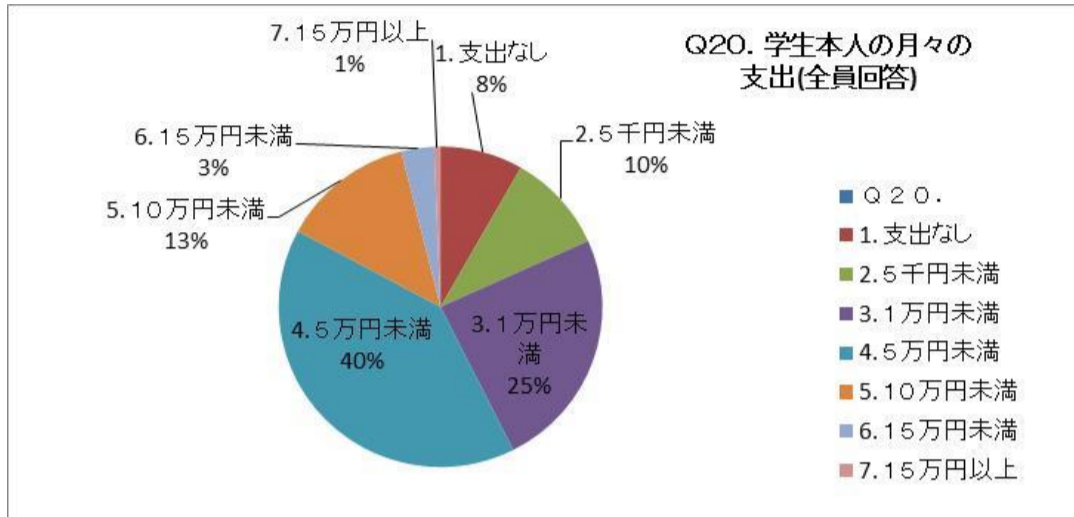
1. 家族からの仕送り等援助	243	38.8%
2. アルバイト代	181	28.9%
3. 奨学金	143	22.8%
4. その他	59	9.4%
計	626	626=100%



収入源は、家族からの仕送り等援助が4割を占め、アルバイトが3割、奨学金が2割である。仕送りと奨学金の不足分をアルバイトで補っている。

Q20. 学生本人の月々の支出(全員回答)

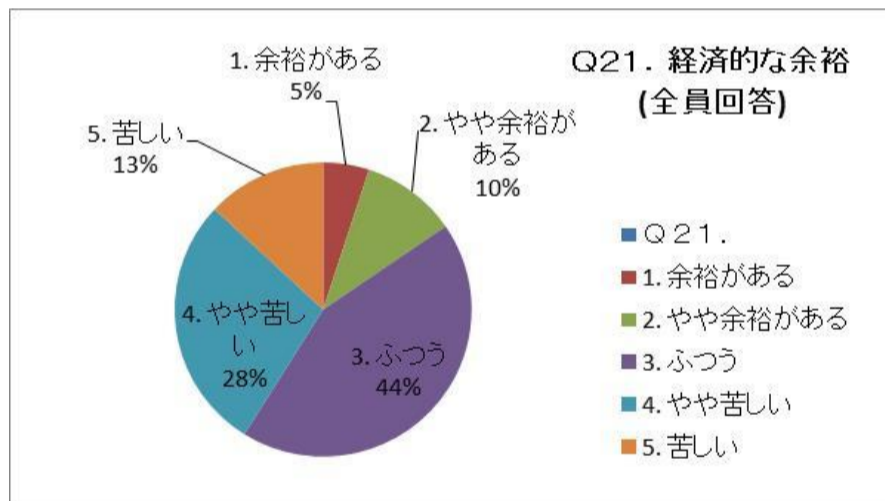
1. 支出なし	38	8.3%
2. 5千円未満	46	10.0%
3. 1万円未満	112	24.3%
4. 5万円未満	185	40.2%
5. 10万円未満	61	13.3%
6. 15万円未満	15	3.3%
7. 15万円以上	3	0.7%
計	460	460=100%



学生の1カ月の支出状況は、「1万円～5万円未満(40%)」が最も高く、次いで、「5千円～1万円未満(25%)」、「5万円～10万円未満(13%)」と続く。

Q21. 経済的な余裕(全員回答)

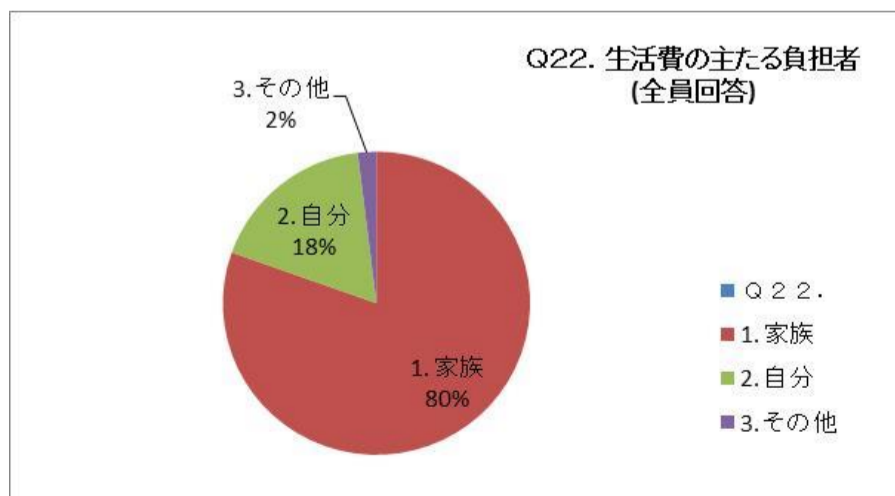
1. 余裕がある	23	5.0%
2. やや余裕がある	48	10.4%
3. ふつう	200	43.5%
4. やや苦しい	129	28.0%
5. 苦しい	60	13.0%
計	460	460=100%



経済的な余裕は、「ふつう(44%)」が4割超と最も高いが、「やや苦しい(28%)」、「苦しい(13%)」と経済的に余裕がないと回答した学生も併せて4割いる。

Q22. 生活費の主たる負担者(全員回答)

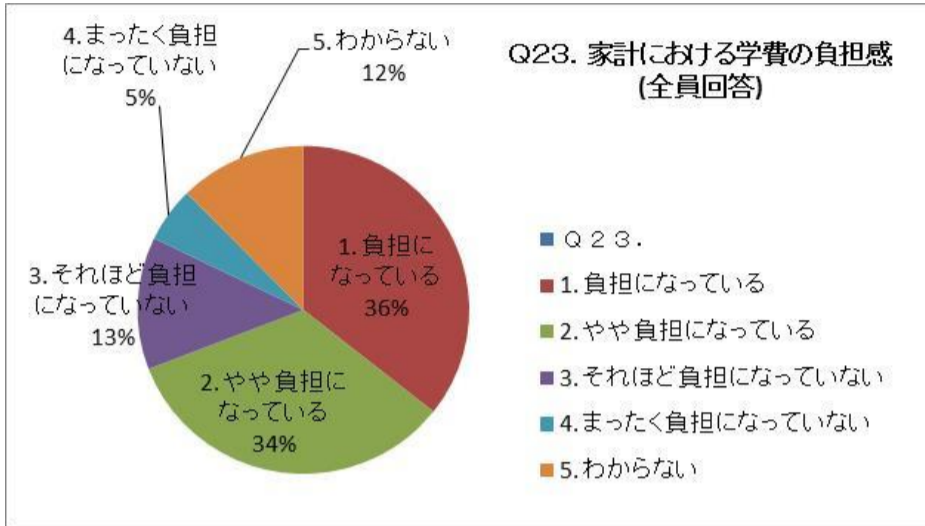
1. 家族	370	80.4%
2. 自分	81	17.6%
3. その他	9	2.0%
計	460	460=100%



生活費の主たる負担者は、「家族(80%)」が8割超と高く、「自分(18%)」は2割弱である。

Q23. 家計における学費の負担感(全員回答)

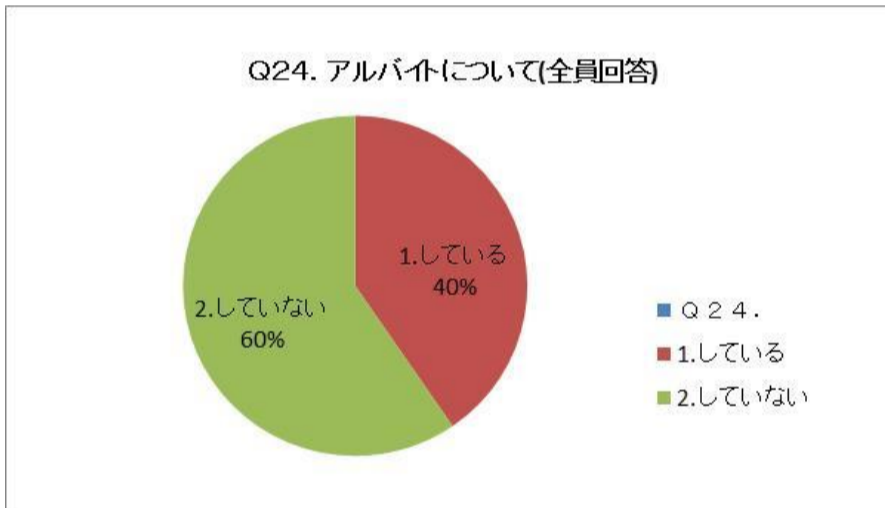
1. 負担になっている	164	35.7%
2. やや負担になっている	154	33.5%
3. それほど負担になっていない	60	13.0%
4. まったく負担になっていない	25	5.4%
5. わからない	57	12.4%
計	460	460=100%



学費の負担感は、「負担になっている(36%)」、「やや負担になっている(34%)」と7割の学生が負担を感じている。

Q24. アルバイトについて(全員回答)

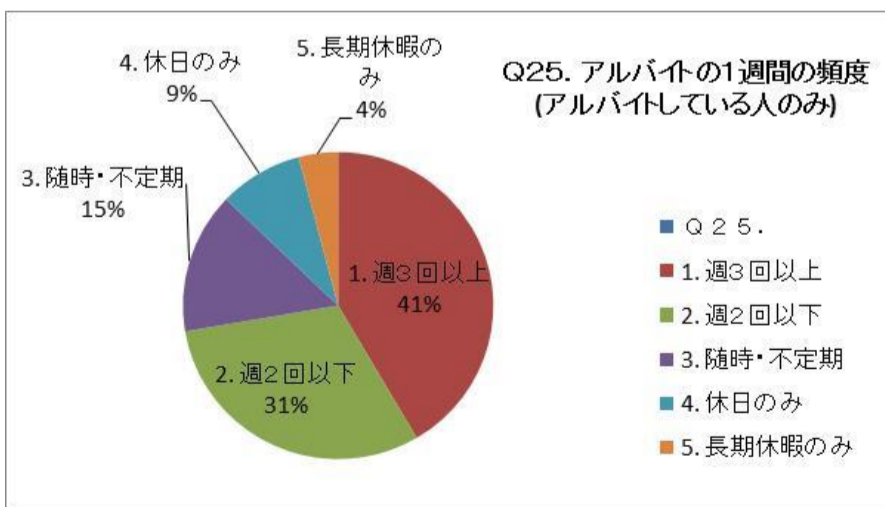
1. している	186	40.4%
2. していない	274	59.6%
計	460	460=100%



アルバイトをしている学生の割合は4割程度である。していない学生の割合が多い。

Q25. アルバイトの1週間の頻度(アルバイトしている人のみ)

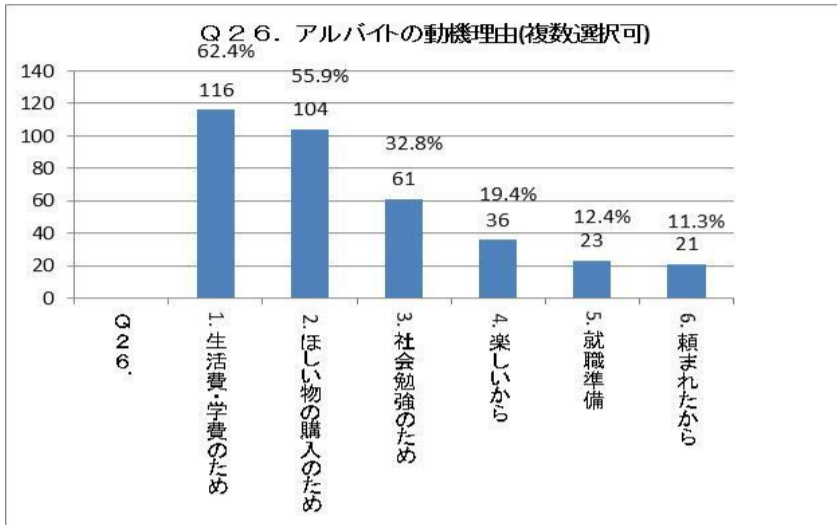
1. 週3回以上	81	41.5%
2. 週2回以下	60	30.8%
3. 随時・不定期	29	14.9%
4. 休日のみ	17	8.7%
5. 長期休暇のみ	8	4.1%
計	195	186=100%



アルバイトをしている学生の中で約6割の学生が週2回以下や、休日や長期休暇中のアルバイトを行っている。また、4割の学生が週3回以上のアルバイトを行っている。

Q26. アルバイトの動機理由(アルバイトしている人のみ・複数選択可)

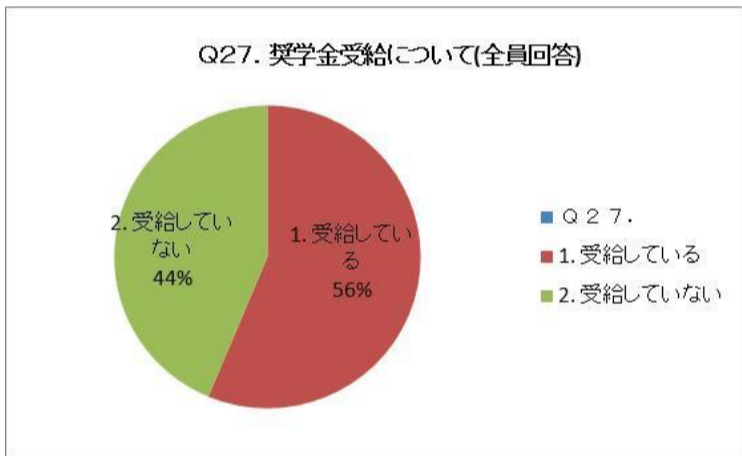
1. 生活費・学費のため	116	62.4%
2. ほしい物の購入のため	104	55.9%
3. 社会勉強のため	61	32.8%
4. 楽しいから	36	19.4%
5. 就職準備	23	12.4%
6. 頼まれたから	21	11.3%
計	361	186=100%



約6割の学生が生活費、学費確保のためアルバイトを行っているという回答している。社会勉強、就職準備のためアルバイトを行っている学生が合わせて4割以上。また、最近の人手不足の影響か、約1割の学生が頼まれてアルバイトを行っている。

Q27. 奨学金受給について(全員回答)

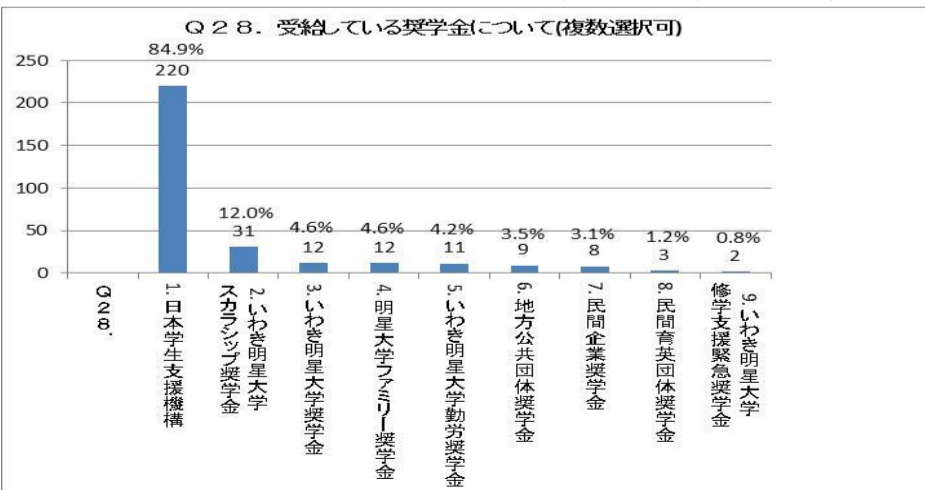
1. 受給している	259	56.3%
2. 受給していない	201	43.7%
計	460	460=100%



奨学金の受給について、56%の学生が「受給している」と回答し、半数以上の学生が何らかの奨学金を受給している。

Q28. 受給している奨学金について(奨学金受給者のみ・複数選択可)

1. 日本学生支援機構	220	84.9%
2. いわき明星大学スカラーシップ奨学金	31	12.0%
3. いわき明星大学奨学金	12	4.6%
4. 明星大学ファミリー奨学金	12	4.6%
5. いわき明星大学勤労奨学金	11	4.2%
6. 地方公共団体奨学金	9	3.5%
7. 民間企業奨学金	8	3.1%
8. 民間育英団体奨学金	3	1.2%
9. いわき明星大学修学支援緊急奨学金	2	0.8%
計	308	259=100%

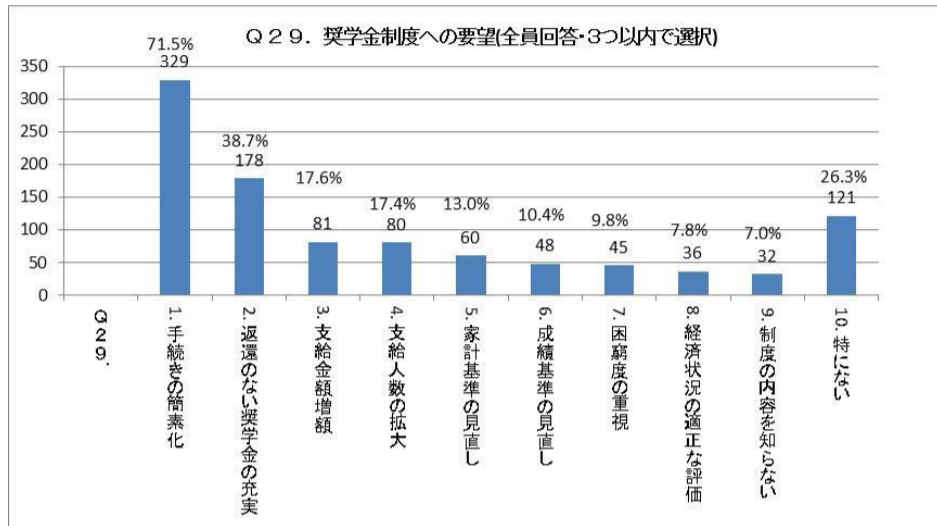


奨学金を受給している学生のうち8割以上が日本学生支援機構奨学金の貸与を受けている。上記を含めた外部奨学金の受給は、全受給者の92.7%、本学独自の奨学金の受給者は14.2%。



Q29. 奨学金制度への要望(全員回答・3つ以内で選択)

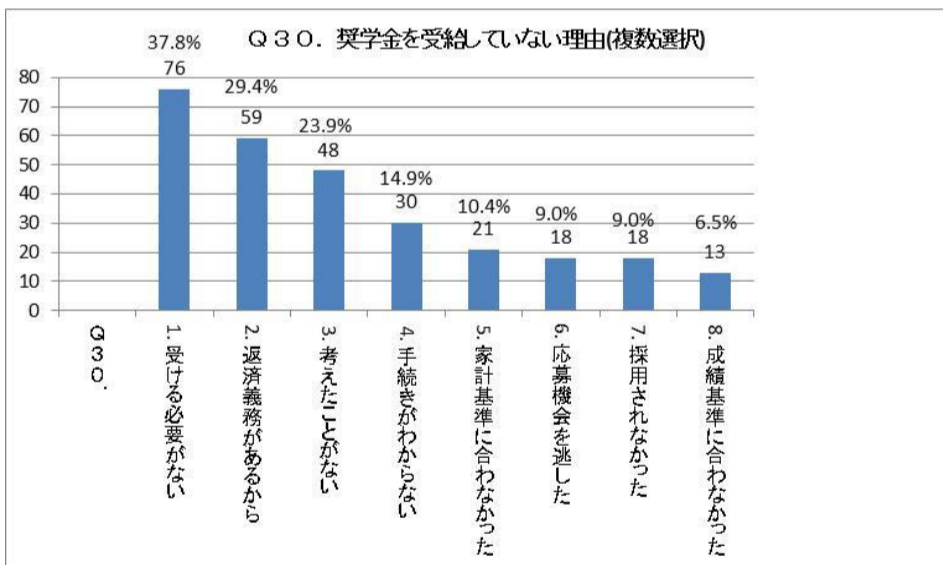
1. 手続きの簡素化	329	71.5%
2. 返還のない奨学金の充実	178	38.7%
3. 支給金額増額	81	17.6%
4. 支給人数の拡大	80	17.4%
5. 家計基準の見直し	60	13.0%
6. 成績基準の見直し	48	10.4%
7. 困窮度の重視	45	9.8%
8. 経済状況の適正な評価	36	7.8%
9. 制度の内容を知らない	32	7.0%
10. 特にない	121	26.3%
計	1010	460=100%



奨学金制度への要望は「手続きの簡素化」が7割超(71.5%)と最も高く、次いで「返還のない奨学金の充実(38.7%)」と続く。また「特にない」と回答した学生も4分の1程度(26.3%)いる。

Q30. 奨学金を受給していない理由(奨学金受給していない人のみ・複数選択)

1. 受ける必要がない	76	37.8%
2. 返済義務があるから	59	29.4%
3. 考えたことがない	48	23.9%
4. 手続きがわからない	30	14.9%
5. 家計基準に合わなかった	21	10.4%
6. 応募機会を逃した	18	9.0%
7. 採用されなかった	18	9.0%
8. 成績基準に合わなかった	13	6.5%
計	283	201=100%

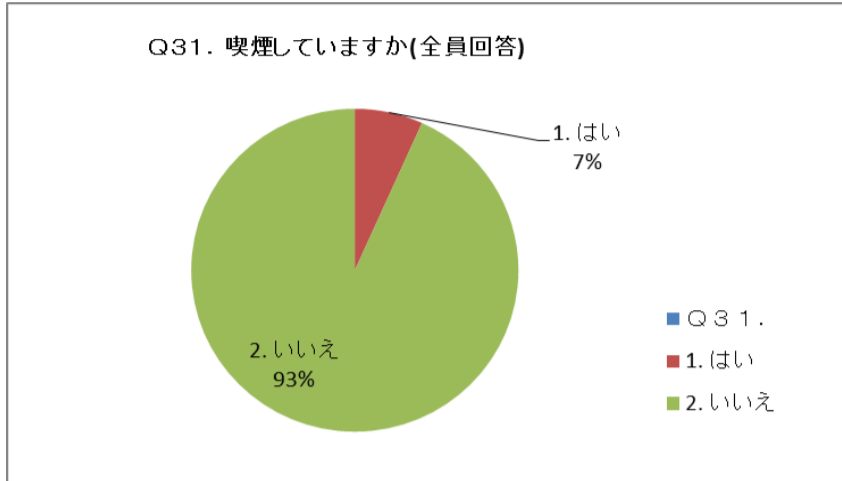


奨学金を受給していない理由は、「受ける必要がない」が最も多い(37.8%)。受給を希望しながら現在は受給していない学生に限ると、「返済義務がある(29.4%)」「手続きがわからない(14.9%)」が主な理由。

(4)学生生活

Q31. 喫煙していますか(全員回答)

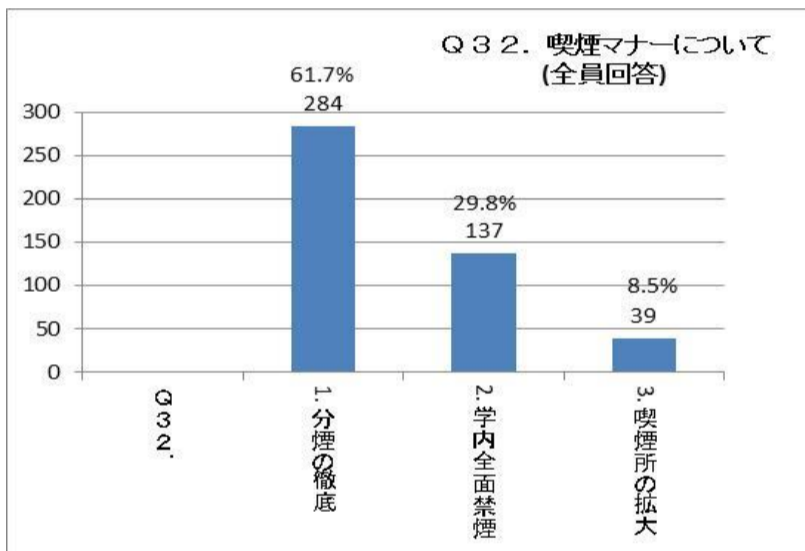
1. はい	31	6.7%
2. いいえ	429	93.3%
計	460	460=100%



喫煙率は「はい」が7%であった。

Q32. 喫煙マナーについて(全員回答)

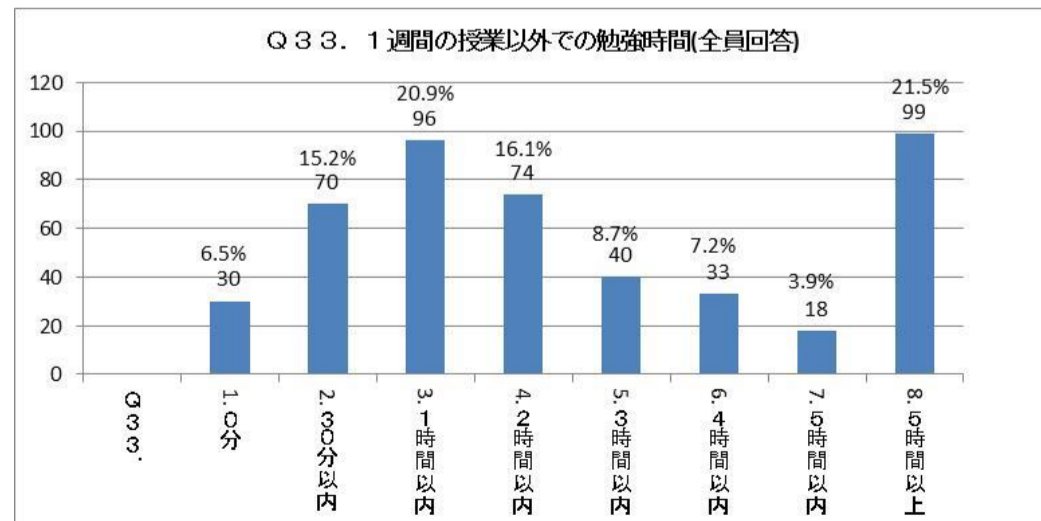
1. 分煙の徹底	284	61.7%
2. 学内全面禁煙	137	29.8%
3. 喫煙所の拡大	39	8.5%
計	460	460=100%



「分煙の徹底」を要望する学生が61.7%と最も多く、次いで「学内全面禁煙」は29.8%であった。一方、「喫煙所の拡大」を求める学生は8.5%と少なかった。

Q33. 1週間の授業以外での勉強時間(全員回答)

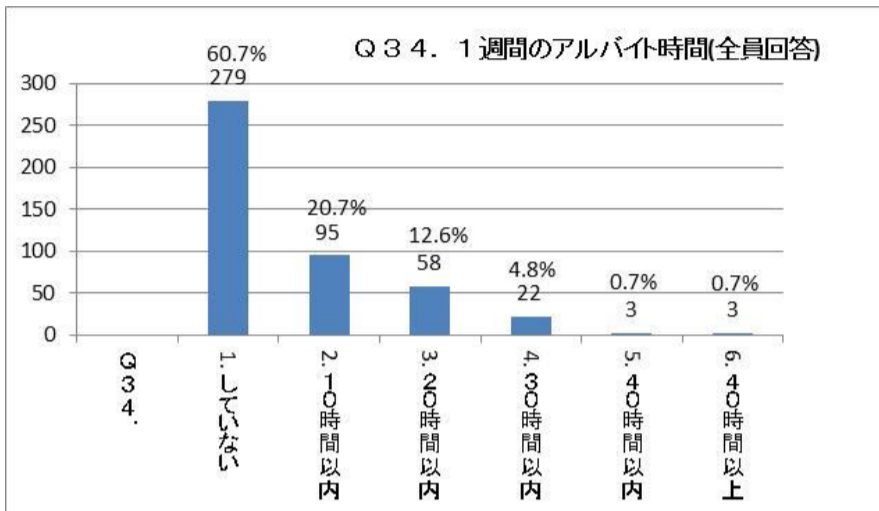
1. 0分	30	6.5%
2. 30分以内	70	15.2%
3. 1時間以内	96	20.9%
4. 2時間以内	74	16.1%
5. 3時間以内	40	8.7%
6. 4時間以内	33	7.2%
7. 5時間以内	18	3.9%
8. 5時間以上	99	21.5%
計	460	460=100%



授業以外での勉強時間は30分以内から2時間以内が合わせて約半数の52.2%となっている。また約2割の学生は5時間以上勉強を行っている。

Q34. 1週間のアルバイト時間(全員回答)

1. していない	279	60.7%
2. 10時間以内	95	20.7%
3. 20時間以内	58	12.6%
4. 30時間以内	22	4.8%
5. 40時間以内	3	0.7%
6. 40時間以上	3	0.7%
計	460	460=100%

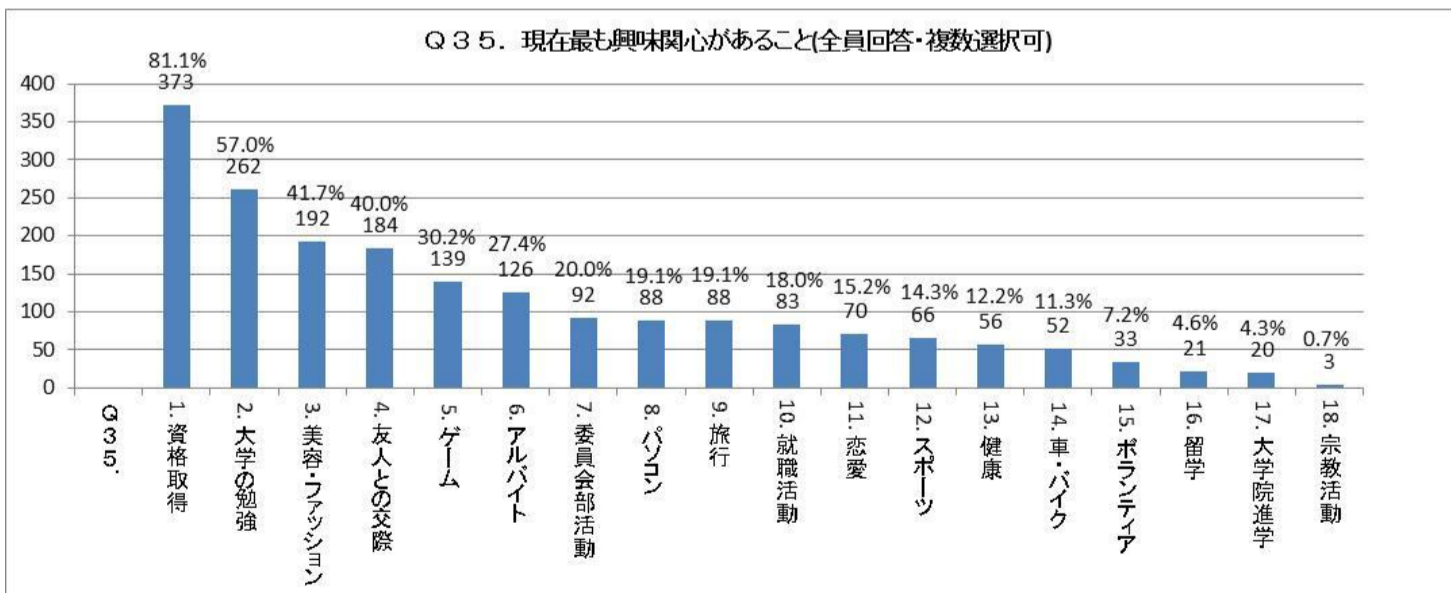


約2割が10時間以内のアルバイト時間で、20時間以内が約1割いる。

Q35. 現在最も興味関心があること(全員回答・複数選択可)

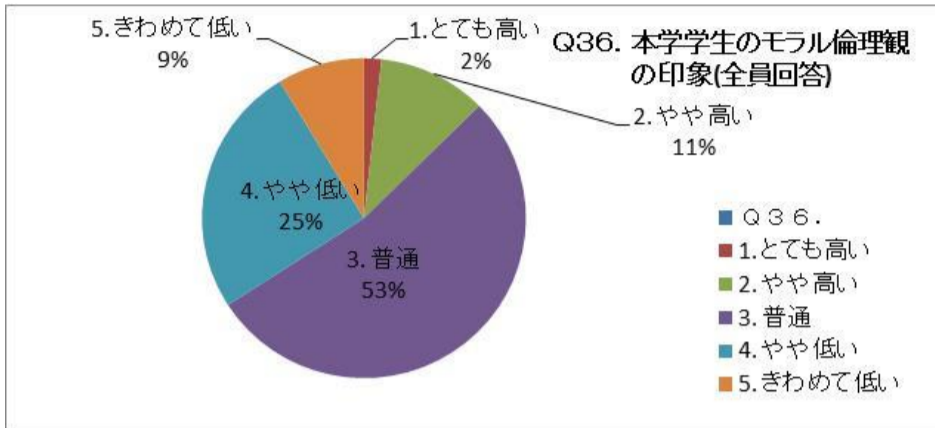
1. 資格取得	373	81.1%
2. 大学の勉強	262	57.0%
3. 美容・ファッション	192	41.7%
4. 友人との交際	184	40.0%
5. ゲーム	139	30.2%
6. アルバイト	126	27.4%
7. 委員会部活動	92	20.0%
8. パソコン	88	19.1%
9. 旅行	88	19.1%
10. 就職活動	83	18.0%
11. 恋愛	70	15.2%
12. スポーツ	66	14.3%
13. 健康	56	12.2%
14. 車・バイク	52	11.3%
15. ボランティア	33	7.2%
16. 留学	21	4.6%
17. 大学院進学	20	4.3%
18. 宗教活動	3	0.7%
計	1948	460=100%

最も興味関心があることは「資格取得」が81.1%と最も高く、次いで「大学の勉強」が57%、「美容・ファッション」が41.7%、「友人との交際」が40.0%と続いた。



Q36. 本学学生のモラル倫理観の印象(全員回答)

1. とても高い	8	1.7%
2. やや高い	50	10.9%
3. 普通	245	53.3%
4. やや低い	117	25.4%
5. きわめて低い	40	8.7%
計	460	460=100%

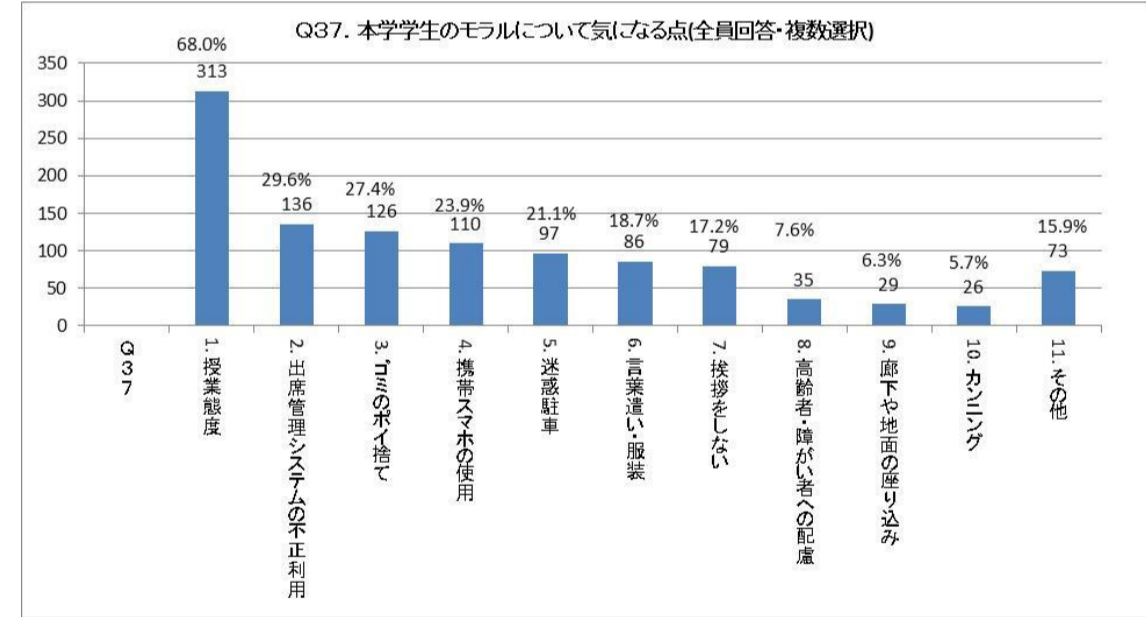


モラル倫理観の印象は「普通」が53%と最も多かった。「とても高い」が2%、「やや高い」が11%であり、ポジティブな印象をもつ学生が1割強であった。一方、「やや低い」が25%、「きわめて低い」が9%であり、ネガティブな印象をもつ学生は3割強であった。

Q37. 本学学生のモラルについて気になる点(全員回答・複数選択)

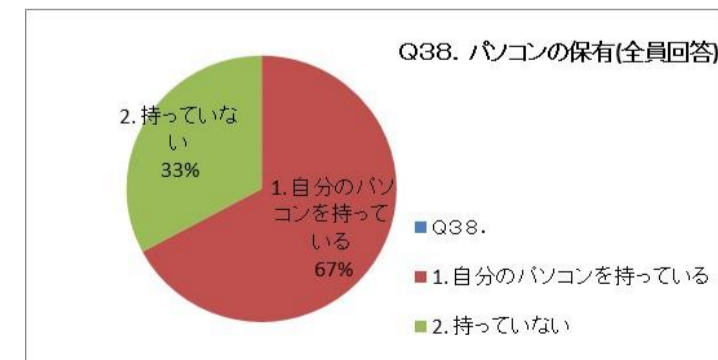
1. 授業態度	313	68.0%
2. 出席管理システムの不正利用	136	29.6%
3. ゴミのポイ捨て	126	27.4%
4. 携帯スマホの使用	110	23.9%
5. 迷惑駐車	97	21.1%
6. 言葉遣い・服装	86	18.7%
7. 挨拶をしない	79	17.2%
8. 高齢者・障がい者への配慮	35	7.6%
9. 廊下や地面の座り込み	29	6.3%
10. カンニング	26	5.7%
11. その他	73	15.9%
計	1110	460=100%

モラルについて気になる点は「授業態度」が68.0%と最も高く、次いで「出席管理システムの不正利用」が29.6%、「ゴミのポイ捨て」が27.4%、「携帯スマホの使用」が23.9%であった。



Q38. パソコンの保有(全員回答)

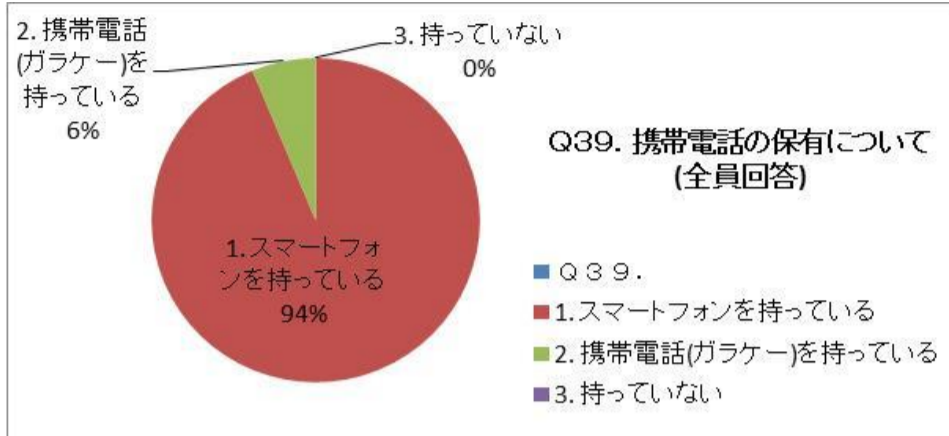
1. 自分のパソコンを持っている	309	67.2%
2. 持っていない	151	32.8%
計	460	460=100%



自分のパソコンを所有しているのは約7割で、高い割合であった。

Q39. 携帯電話の保有について(全員回答)

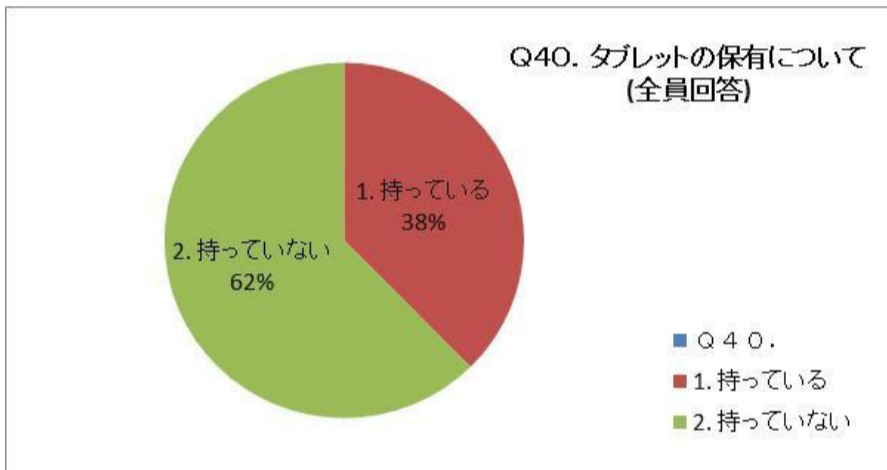
1. スマートフォンを持っている	431	93.7%
2. 携帯電話(ガラケー)を持っている	29	6.3%
3. 持っていない	0	0.0%
計	460	460=100%



スマートフォンは95%という高い割合で所有しており、携帯電話を未所有の学生はいない。

Q40. タブレットの保有について(全員回答)

1. 持っている	173	37.6%
2. 持っていない	287	62.4%
計	460	460=100%

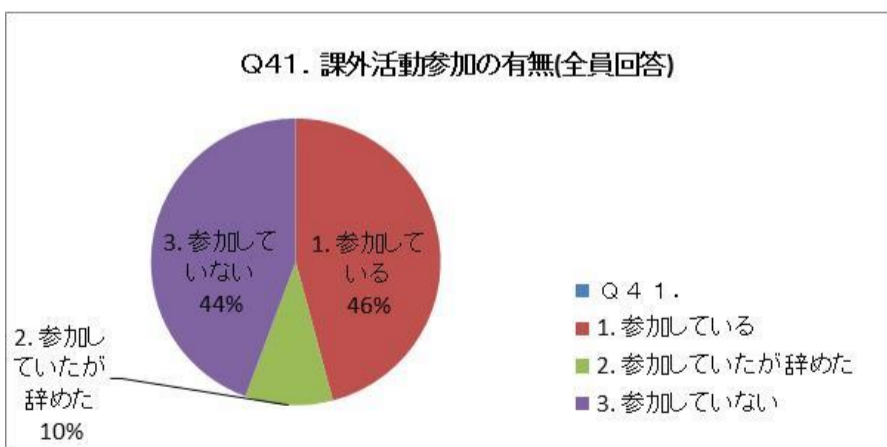


4割弱の学生がタブレット端末を所有している。

(5) 課外活動

Q41. 課外活動参加の有無(全員回答)

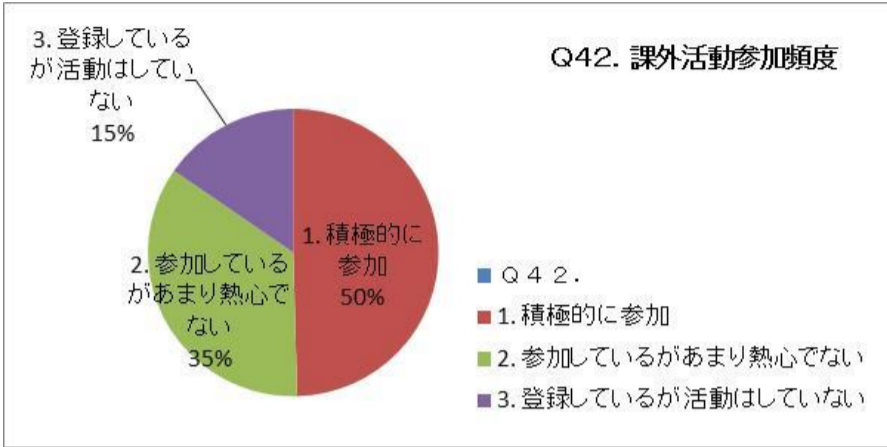
1. 参加している	211	45.9%
2. 参加していたが辞めた	45	9.8%
3. 参加していない	204	44.3%
計	460	460=100%



課外活動の参加率は46%と全体の半数以下であり、Q48の「学友会活動への関心度」とほぼ一致する。

Q42. 課外活動参加頻度

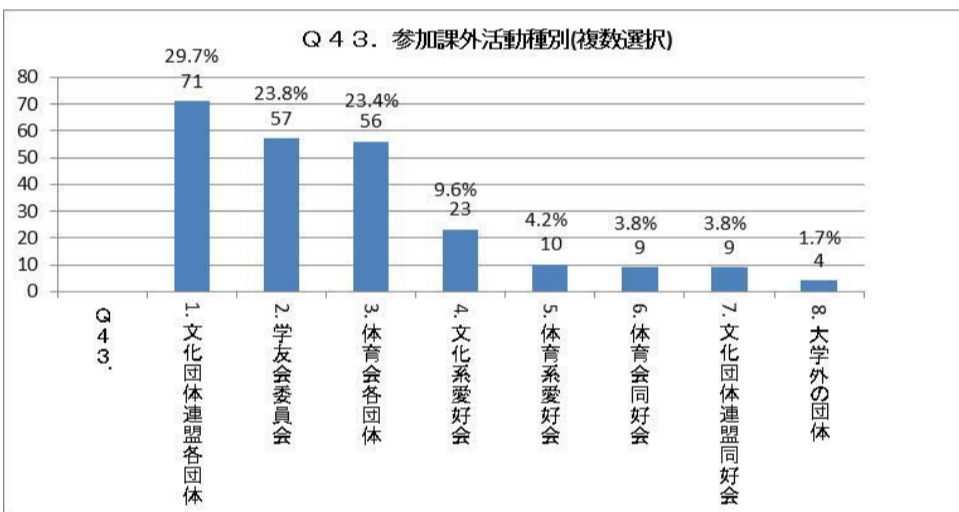
1. 積極的に参加	113	49.6%
2. 参加しているがあまり熱心でない	80	35.1%
3. 登録しているが活動はしていない	35	15.4%
計	228	228=100%



課外活動の参加頻度は、課外活動に参加している者の50%が「積極的に参加」と回答している。「参加しているがあまり熱心でない(35%)」と合わせると8割以上が、実質上の活動を行っているようである。

Q43. 参加課外活動種別(複数選択)

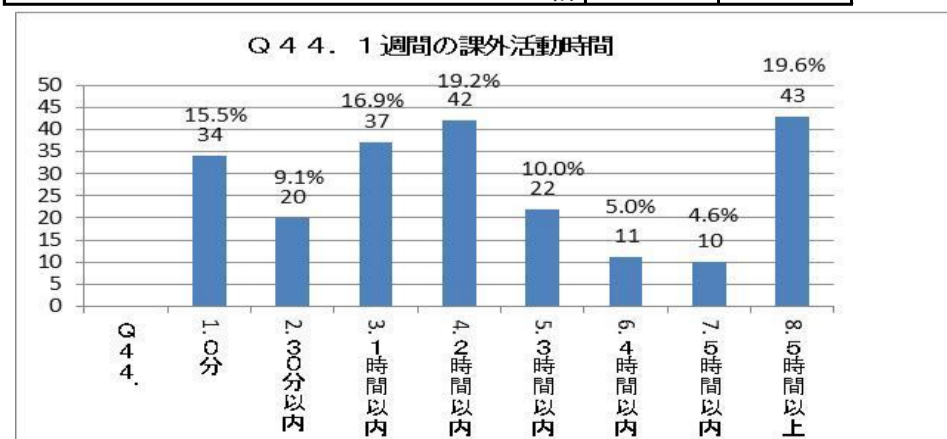
1. 文化団体連盟各団体	71	29.7%
2. 学友会委員会	57	23.8%
3. 体育会各団体	56	23.4%
4. 文化系愛好会	23	9.6%
5. 体育系愛好会	10	4.2%
6. 体育会同好会	9	3.8%
7. 文化団体連盟同好会	9	3.8%
8. 大学外の団体	4	1.7%
計	239	239=100%



課外活動参加種別では、文化団体連盟に所属している者が30%、次いで学友会委員会に所属している者が24%、体育会に所属している者が23%であった。

Q44. 1週間の課外活動時間

1. 0分	34	15.5%
2. 30分以内	20	9.1%
3. 1時間以内	37	16.9%
4. 2時間以内	42	19.2%
5. 3時間以内	22	10.0%
6. 4時間以内	11	5.0%
7. 5時間以内	10	4.6%
8. 5時間以上	43	19.6%
計	219	219=100%



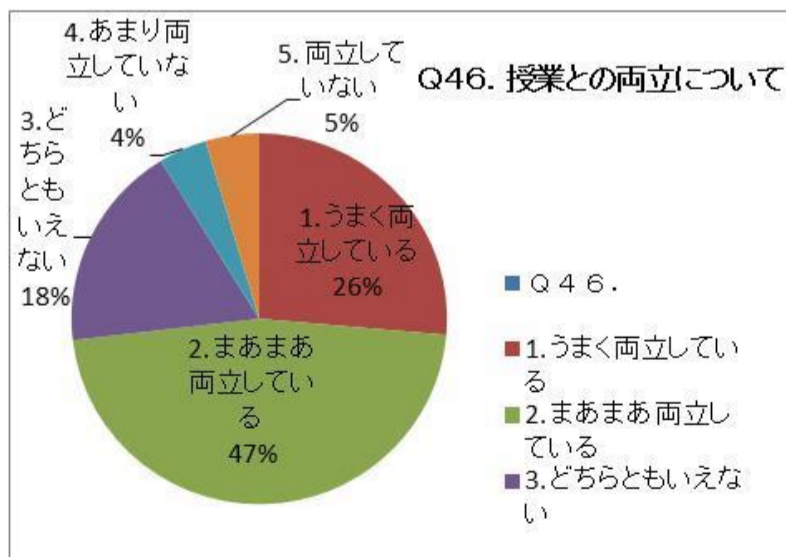
1週間の課外活動の時間は、「5時間以上(20%)」が最も多く、次いで「2時間以内(19%)」、「1時間以内(17%)」であった。一方、0分という回答も16%あった。これはQ42の活動頻度とほぼ同じ数値である。活動時間の二極化の傾向がみられる。

Q45. 参加課外活動団体名

ソフトウェア研究部	11
Comic Art部	10
バスケットボール部	10
運営委員会	9
学園祭実行委員会	8
軽音楽部	8
吹奏楽団	8
会計監査委員会	7
学生赤十字奉仕部	7
弓道部	6
硬式庭球部	6
写真部	6
軟式庭球部	6
バドミントン部	5
メイピア愛好会	5
ロールプレイング部	5
卓球部	5
茶道部	5
温泉愛好会	4
体育会本部	4
美術部	4
木球同好会	4
バレーボール部	3
フラダンス愛好会	3
映画愛好会	3
広報委員会	3
水泳部	3
代議委員会	3
農業愛好会	3
文化団体連盟本部	3
NGA	2
軟式庭球部	2
演劇部	2
合気道同好会	2
薬走会	2
サッカー愛好会	1
教師を目指す会	1
剣道部	1
室内楽研究部	1
少林寺拳法部	1
天文部	1
薬学部学生会	1
計	184

Q46. 授業との両立について

1. うまく両立している	57	26.4%
2. まあまあ両立している	101	46.8%
3. どちらともいえない	39	18.1%
4. あまり両立していない	9	4.2%
5. 両立していない	10	4.6%
計	216	216=100%

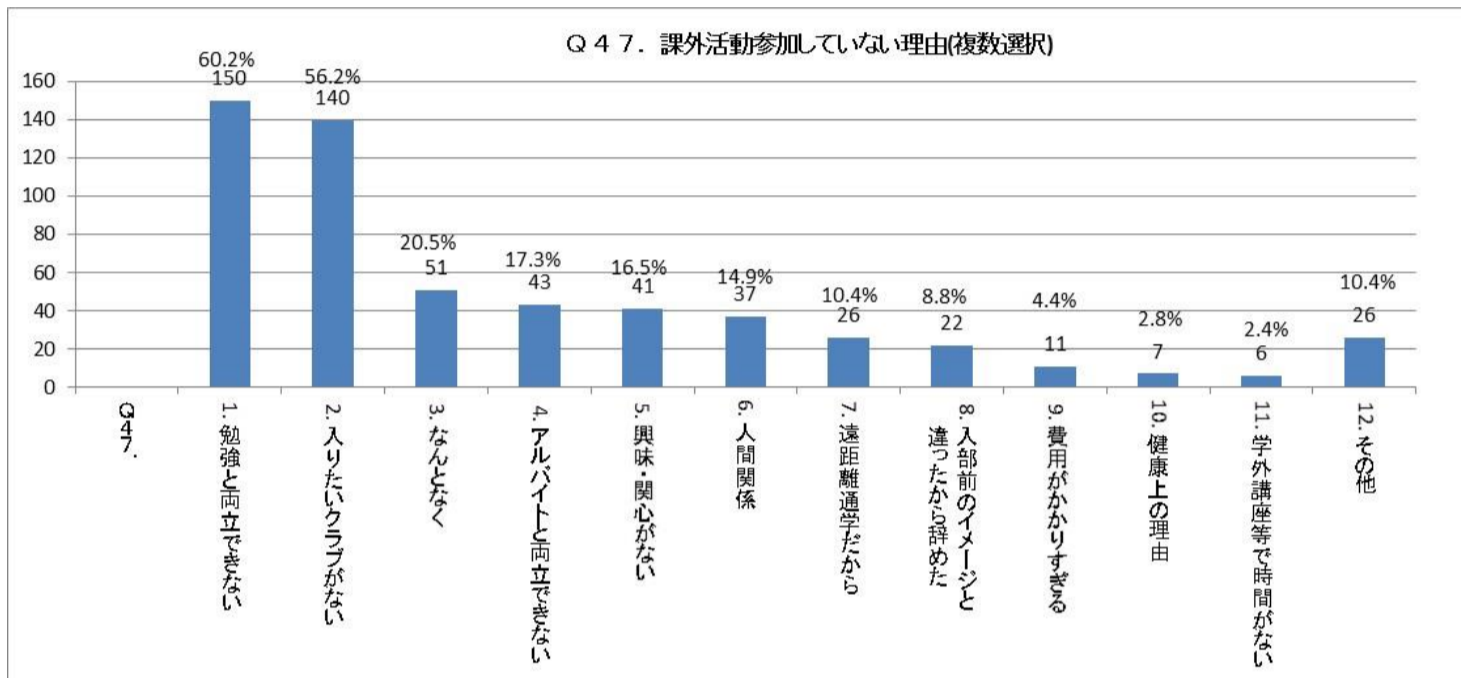


授業との両立についての回答では、「まあ、まあ両立している(47%)」、「うまく両立している(26%)」を合わせると、7割以上が両立していると回答している。  
一方、両立に困難さを感じていると回答している者が約1割であった。

Q47. 課外活動参加していない理由(複数選択)

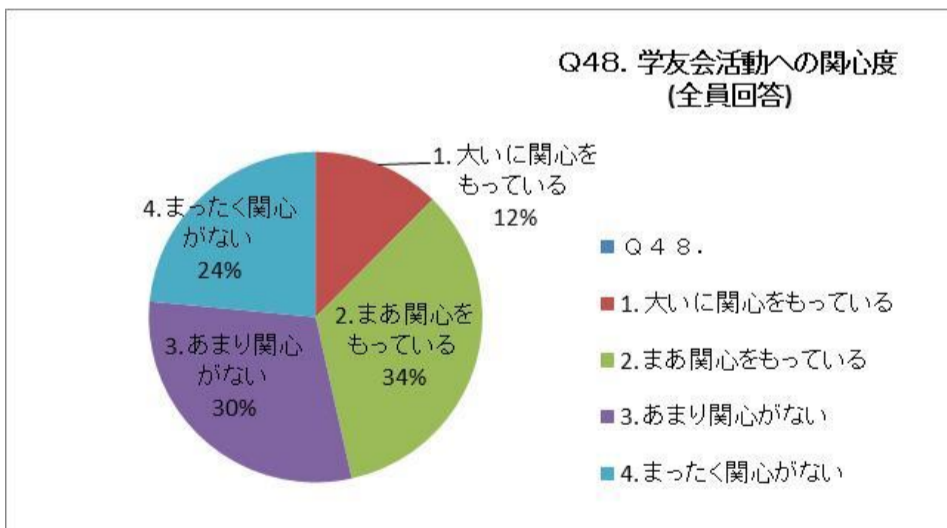
1. 勉強と両立できない	150	60.2%
2. 入りたいクラブがない	140	56.2%
3. なんとなく	51	20.5%
4. アルバイトと両立できない	43	17.3%
5. 興味・関心がない	41	16.5%
6. 人間関係	37	14.9%
7. 遠距離通学だから	26	10.4%
8. 入部前のイメージと違ったから辞めた	22	8.8%
9. 費用がかかりすぎる	11	4.4%
10. 健康上の理由	7	2.8%
11. 学外講座等で時間がない	6	2.4%
12. その他	26	10.4%
計	560	249=100%

課外活動への参加をしない理由で、最も多いのが「勉強と両立できない」で60%、次いで「入りたいクラブがない(56%)」、「なんとなく(21%)」であった。「入りたいクラブがない」という理由が多いことからすると、課外活動への参加率を上げるには、既存の部活動の見直しを検討する必要があるのではないか。



Q48. 学友会活動への関心度(全員回答)

1. 大いに関心をもっている	57	12.4%
2. まあ関心をもっている	157	34.1%
3. あまり関心がない	138	30.0%
4. まったく関心がない	108	23.5%
計	460	460=100%

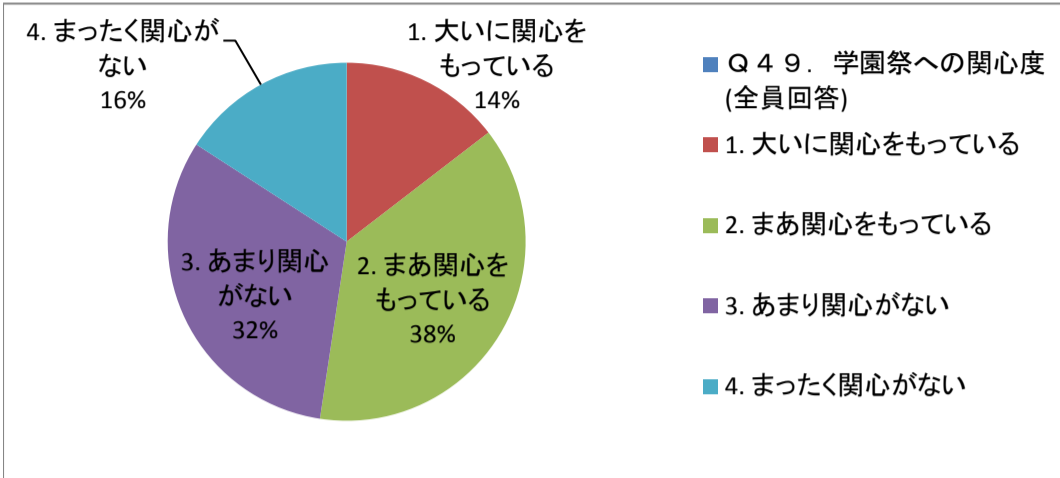


学友会活動への関心度は、「大いに関心を持っている」(12%)、「まあ関心を持っている」(34%)を合わせても、全体の半数に満たない。逆に、関心がないと回答した者が半数以上いることから、関心度はあまり高くないと言えよう。



Q49. 学園祭への関心度(全員回答)

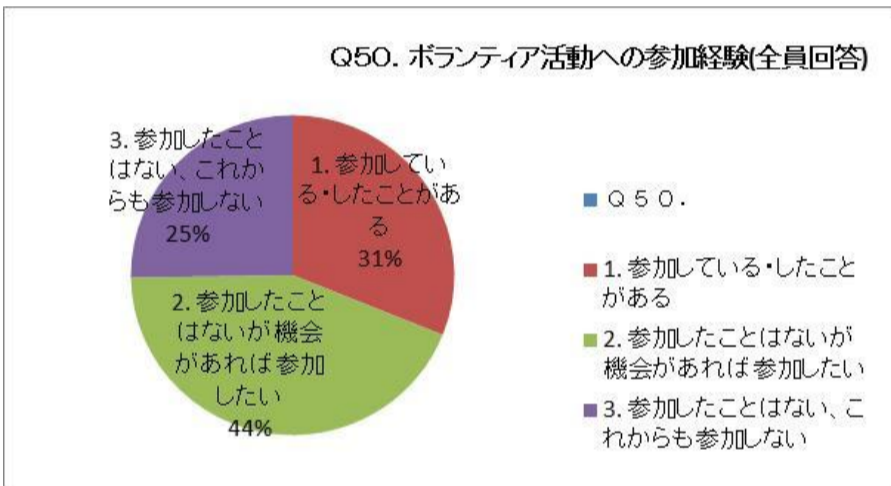
1. 大いに関心をもっている	67	14.6%
2. まあ関心をもっている	174	37.8%
3. あまり関心がない	146	31.7%
4. まったく関心がない	73	15.9%
計	460	460=100%



学園祭の関心度は、大いに関心または関心を持っている学生が5割を超えている。

Q50. ボランティア活動への参加経験(全員回答)

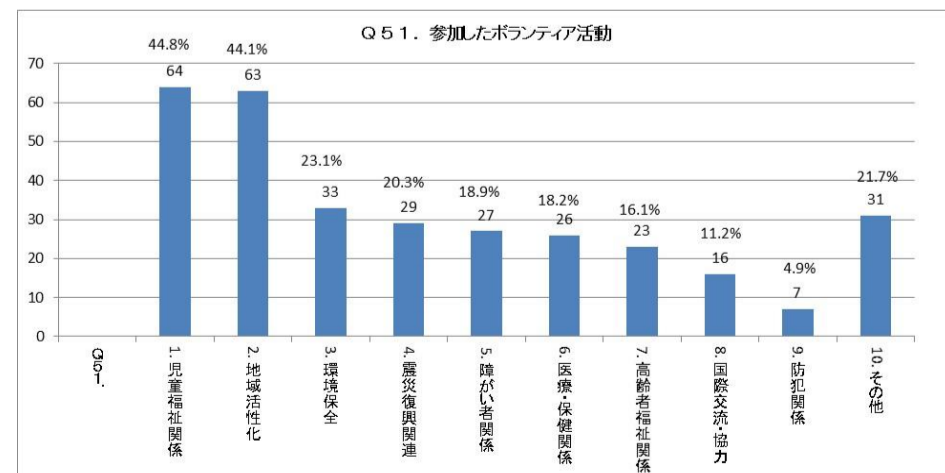
1. 参加している・したことがある	143	31.1%
2. 参加したことはないが機会があれば参加したい	201	43.7%
3. 参加したことはない、これからも参加しない	116	25.2%
計	460	460=100%



ボランティア活動への参加経験について、「参加したことはないが機会があれば参加したい」と回答した学生が44%と最も多く、次いで「参加している・したことがある」が31%と、7割超の学生がボランティア活動に関心を持っていることが分かる。

Q51. 参加したボランティア活動

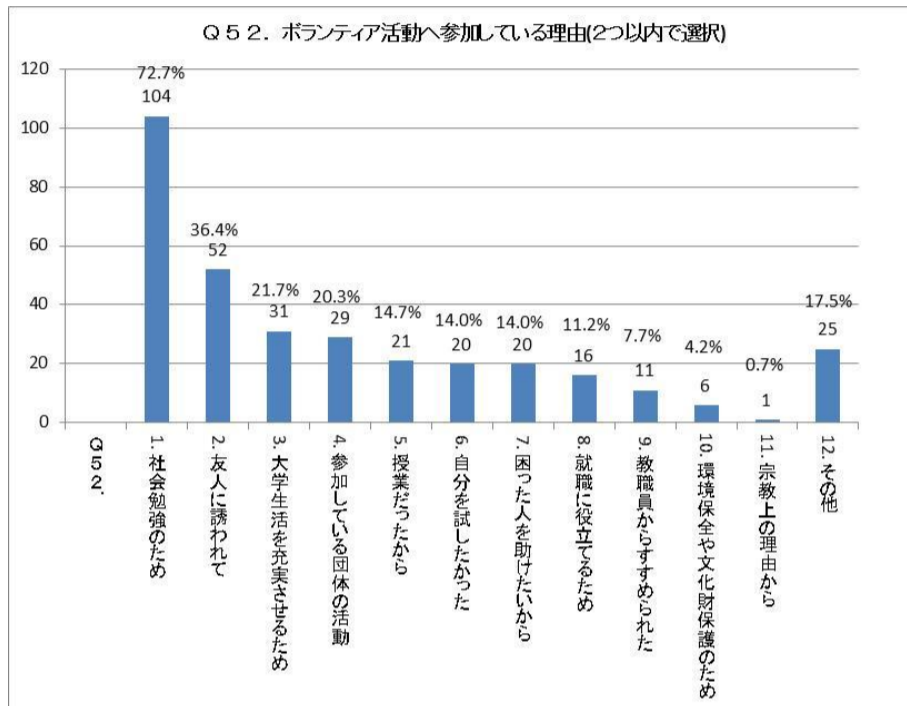
1. 児童福祉関係	64	44.8%
2. 地域活性化	63	44.1%
3. 環境保全	33	23.1%
4. 震災復興関連	29	20.3%
5. 障がい者関係	27	18.9%
6. 医療・保健関係	26	18.2%
7. 高齢者福祉関係	23	16.1%
8. 国際交流・協力	16	11.2%
9. 防犯関係	7	4.9%
10. その他	31	21.7%
計	319	143=100%



参加したボランティア活動を種類別にみると、「児童福祉関係(44.8%)」「地域活性化(44.1%)」が主な活動内容となっている。その他、「環境保全」「震災復興関連」などの活動が挙げられている。

Q52. ボランティア活動へ参加している理由(2つ以内で選択)

1. 社会勉強のため	104	72.7%
2. 友人に誘われて	52	36.4%
3. 大学生活を充実させるため	31	21.7%
4. 参加している団体の活動	29	20.3%
5. 授業だったから	21	14.7%
6. 自分を試したかった	20	14.0%
7. 困った人を助けたいから	20	14.0%
8. 就職に役立てるため	16	11.2%
9. 教職員からすすめられた	11	7.7%
10. 環境保全や文化財保護のため	6	4.2%
11. 宗教上の理由から	1	0.7%
12. その他	25	17.5%
計	336	143=100%

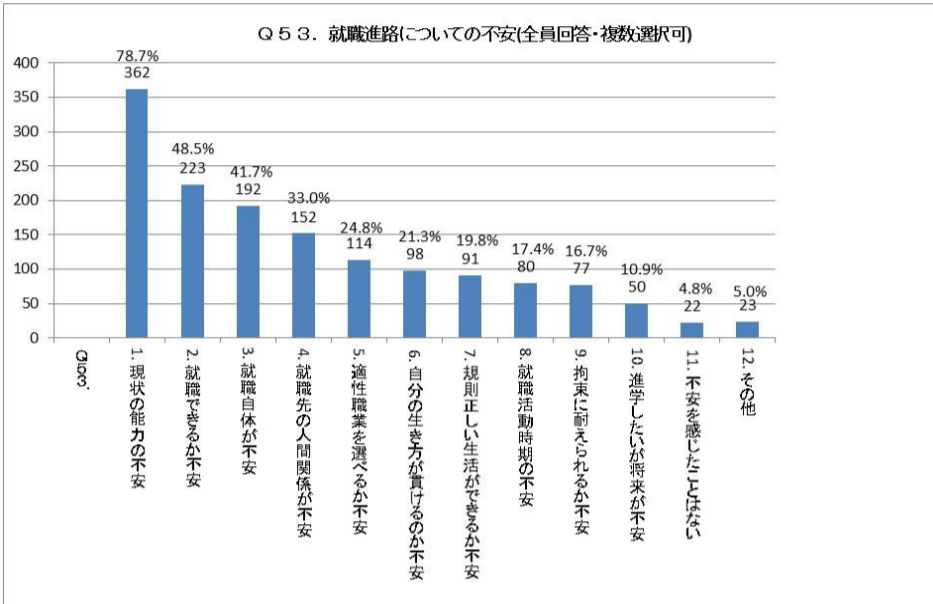


ボランティア活動に参加している理由は、「社会勉強のため」が最も多く(72.7%)、次いで「友人に誘われて(36.4%)」「大学生活を充実させるため(21.7%)」と続く。

(6)進路就職

Q53. 就職進路についての不安(全員回答・複数選択可)

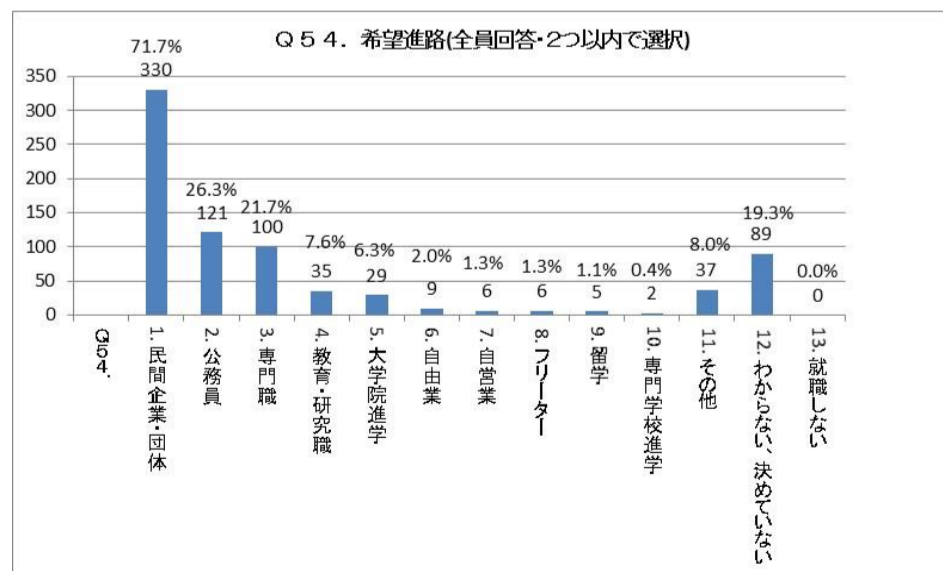
1. 現状の能力の不安	362	78.7%
2. 就職できるか不安	223	48.5%
3. 就職自体が不安	192	41.7%
4. 就職先の人間関係が不安	152	33.0%
5. 適性職業を選べるか不安	114	24.8%
6. 自分の生き方が買けるのか不安	98	21.3%
7. 規則正しい生活ができるか不安	91	19.8%
8. 就職活動時期の不安	80	17.4%
9. 拘束に耐えられるか不安	77	16.7%
10. 進学したいが将来が不安	50	10.9%
11. 不安を感じたことはない	22	4.8%
12. その他	23	5.0%
計	1484	460=100%



進路就職については、「現状の能力の不安(78.8%)」が約8割と最も高く、次いで、「就職できるか不安(48.5%)」、「就職自体が不安(41.7%)」と続く。自分に合った職業選択が出来るか、という不安よりも、就職自体が出来るか、という不安の方が大きいことが推測される。

Q54. 希望進路(全員回答・2つ以内で選択)

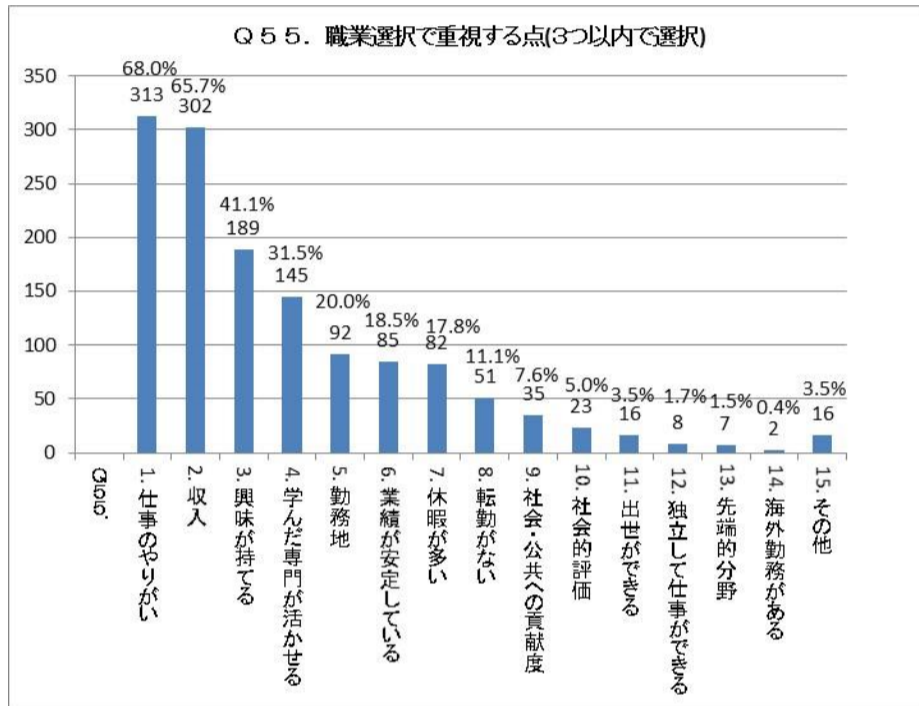
1. 民間企業・団体	330	71.7%
2. 公務員	121	26.3%
3. 専門職	100	21.7%
4. 教育・研究職	35	7.6%
5. 大学院進学	29	6.3%
6. 自由業	9	2.0%
7. 自営業	6	1.3%
8. フリーター	6	1.3%
9. 留学	5	1.1%
10. 専門学校進学	2	0.4%
11. その他	37	8.0%
12. わからない、決めていない	89	19.3%
13. 就職しない	0	0.0%
計	769	460=100%



希望進路は、「民間企業・団体(71.7%)」が最も高く、次いで、「公務員(26.3%)」、「専門職(21.7%)」と続いている。全体として、約7割が卒業後の進路として民間企業・団体を希望しており、3割近くが公務員を希望している様子が窺える。

Q55. 職業選択で重視する点(3つ以内で選択)

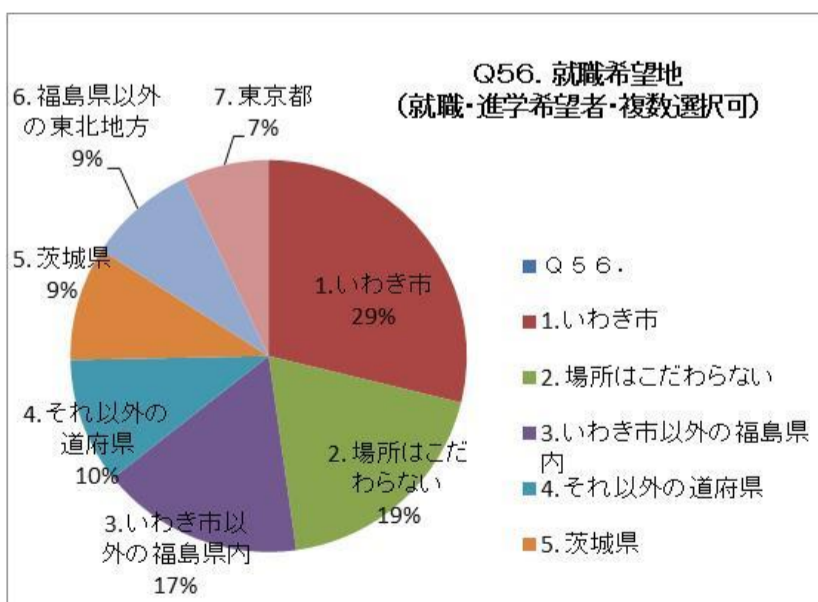
1. 仕事のやりがい	313	68.0%
2. 収入	302	65.7%
3. 興味が持てる	189	41.1%
4. 学んだ専門が活かせる	145	31.5%
5. 勤務地	92	20.0%
6. 業績が安定している	85	18.5%
7. 休暇が多い	82	17.8%
8. 転勤がない	51	11.1%
9. 社会・公共への貢献度	35	7.6%
10. 社会的評価	23	5.0%
11. 出世ができる	16	3.5%
12. 独立して仕事ができる	8	1.7%
13. 先端的分野	7	1.5%
14. 海外勤務がある	2	0.4%
15. その他	16	3.5%
計	1366	460=100%



職業選択で重視する点は、「仕事のやりがい(68.0%)」が最も高く、僅差で「収入(65.7%)」が続いている。仕事自体の「やりがい」と、それに伴う「収入」の2つが、職業選択における重要項目となっていることが窺われる。

Q56. 就職希望地(就職・進学希望者・複数選択可)

1. いわき市	181	28.8%
2. いわき市以外の福島県内	104	18.9%
3. 福島県以外の東北地方	56	16.6%
4. 茨城県	59	10.4%
5. 東京都	44	9.4%
6. それ以外の道府県	65	8.9%
7. 場所はこだわらない	119	7.0%
計	628	460=100%

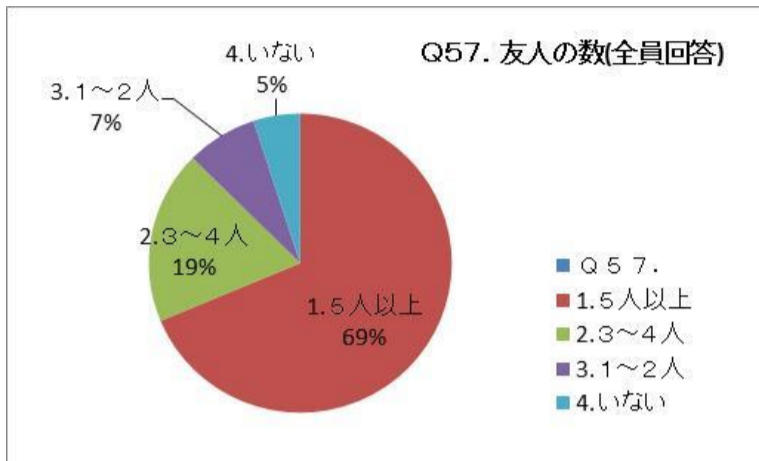


就職希望地については、「いわき市(28.8%)」が最も高く、次いで、「場所にはこだわらない(7.0%)」、「いわき市以外の福島県内(18.9%)」と続く。いわき市での就職を希望する割合が最も高いこと、また、いわき市以外の福島県内を希望する割合も3番目に多いことから、全般として学生の地元志向が窺われる。

(7)不安悩み

Q57. 友人の数(全員回答)

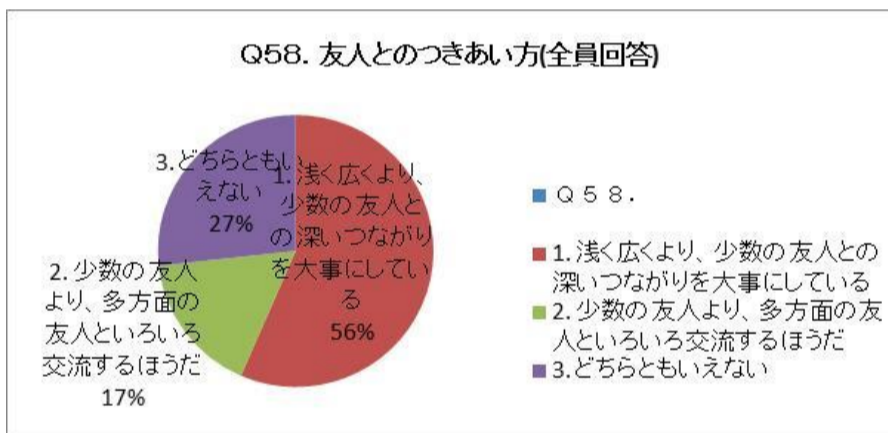
1. 5人以上	316	68.7%
2. 3~4人	86	18.7%
3. 1~2人	35	7.6%
4. いない	23	5.0%
計	460	460=100%



友人の数は「5人以上(69%)」、「3~4人(19%)」の計88%の学生が3人以上の友人がいると回答するもののほかに、友人が「いない(5%)」の回答もある。

Q58. 友人とのつきあい方(全員回答)

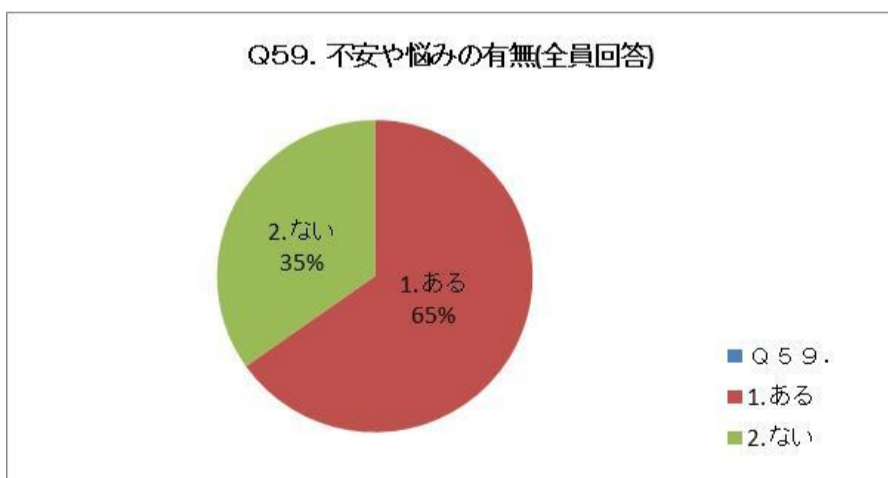
1. 浅く広くより、少数の友人との深いつながりを大事にしている	260	56.5%
2. 少数の友人より、多方面の友人といろいろな交流するほうだ	77	16.7%
3. どちらともいえない	123	26.7%
計	460	460=100%



友人との付き合い方では、「浅く広くより、少数の友人との深いつながりを大事にしている(56%)」が半数以上を占めていることがわかる。

Q59. 不安や悩みの有無(全員回答)

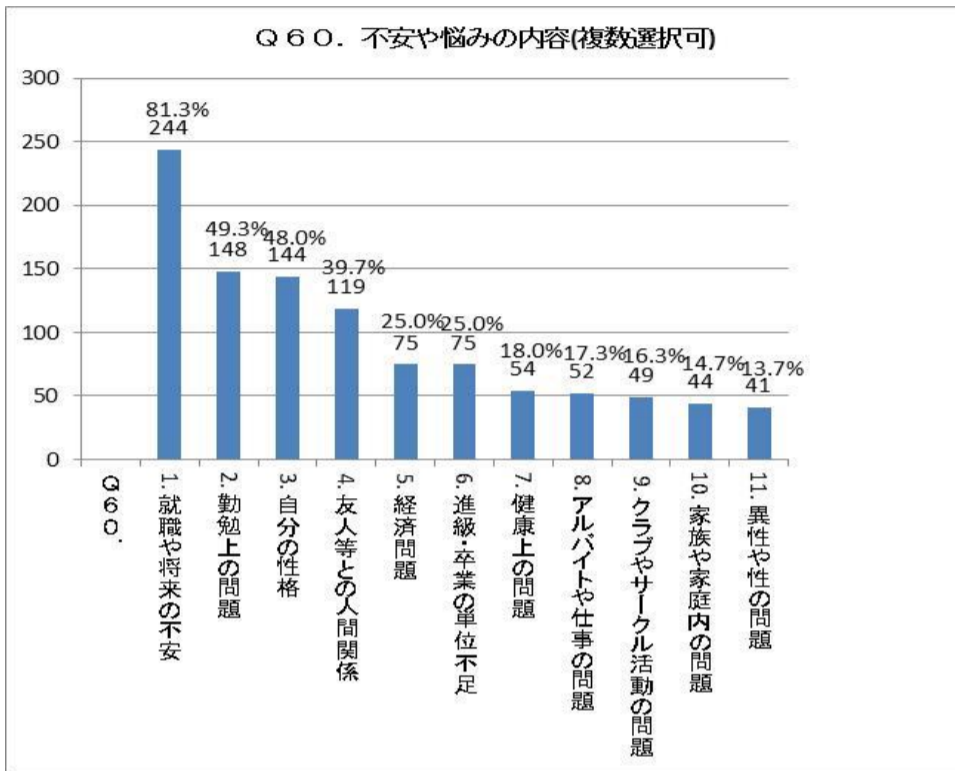
1. ある	300	65.2%
2. ない	160	34.8%
計	460	460=100%



不安や悩みをについて「ある(65%)」としている学生が3分の2以上にのぼる。それに対し、不安や悩みは「ない(35%)」が3分の1の少数派になっている。

Q60. 不安や悩みの内容(複数選択可)

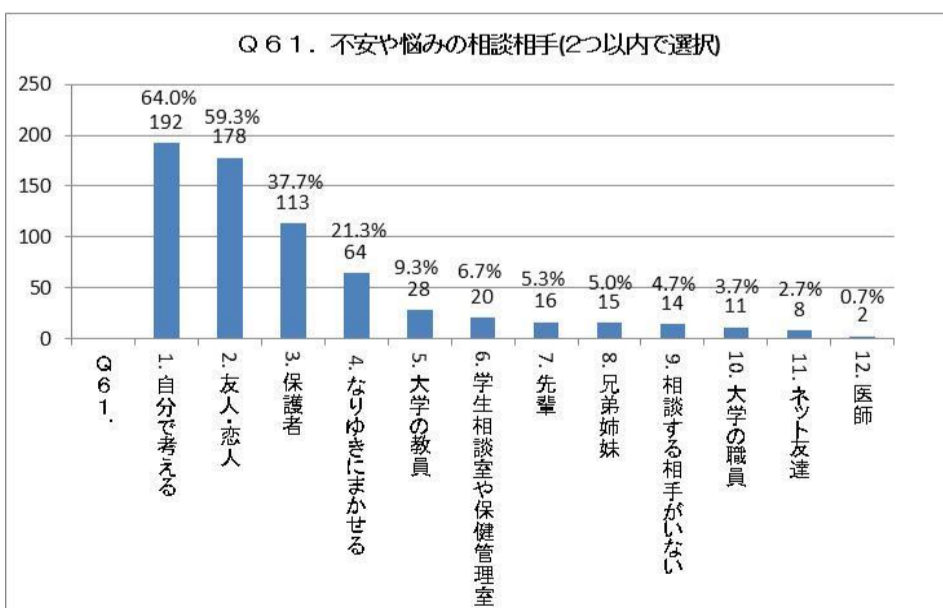
1. 就職や将来の不安	244	81.3%
2. 勤勉上の問題	148	49.3%
3. 自分の性格	144	48.0%
4. 友人等との人間関係	119	39.7%
5. 経済問題	75	25.0%
6. 進級・卒業の単位不足	75	25.0%
7. 健康上の問題	54	18.0%
8. アルバイトや仕事の問題	52	17.3%
9. クラブやサークル活動の問題	49	16.3%
10. 家族や家庭内の問題	44	14.7%
11. 異性や性の問題	41	13.7%
計	1045	300=100%



回答の第1位は「就職や将来の不安(81.3%)」の回答があった。次いで「勤勉上の問題(49.3%)」、「自分の性格(48%)」で自身の問題を上げている。以下に人間関係の「友人関係(39.7%)」が上げられている。

Q61. 不安や悩みの相談相手(2つ以内で選択)

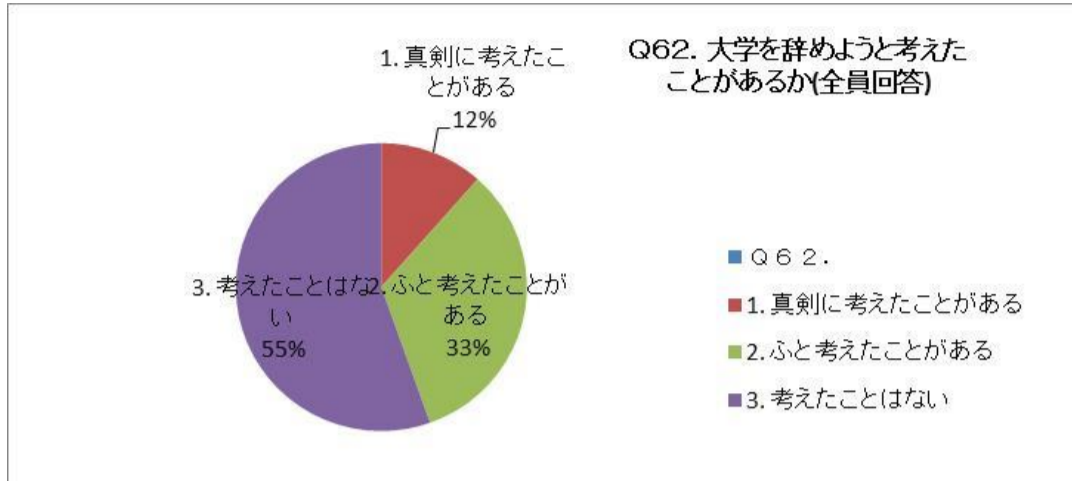
1. 自分で考える	192	64.0%
2. 友人・恋人	178	59.3%
3. 保護者	113	37.7%
4. なりゆきにまかせる	64	21.3%
5. 大学の教員	28	9.3%
6. 学生相談室や保健管理室	20	6.7%
7. 先輩	16	5.3%
8. 兄弟姉妹	15	5.0%
9. 相談する相手がいない	14	4.7%
10. 大学の職員	11	3.7%
11. ネット友達	8	2.7%
12. 医師	2	0.7%
計	661	300=100%



不安や悩みの相談相手のトップ回答は「自分で考える(64%)」、「友人・恋人(59.3%)」が過半数を占めている。以下に「保護者(37.7%)」、「なりゆきにまかせる」と続く。

Q62. 大学を辞めようと思ったことがあるか(全員回答)

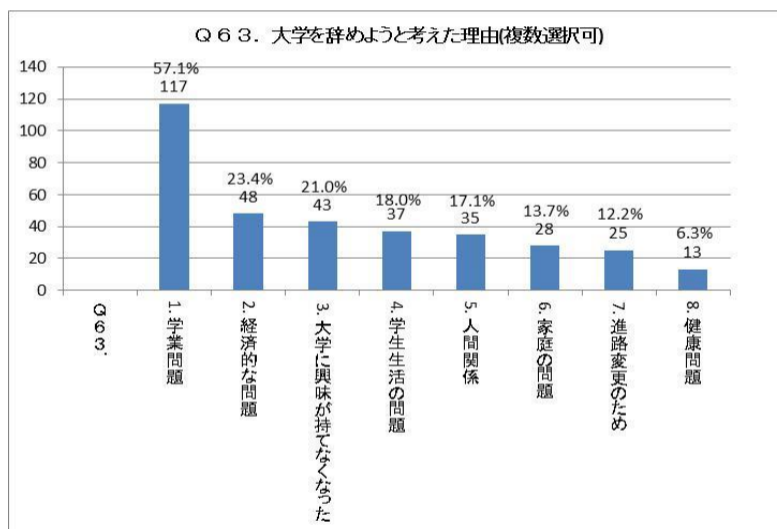
1. 真剣に考えたことがある	53	11.5%
2. ふと考えたことがある	152	33.0%
3. 考えたことはない	255	55.4%
計	460	460=100%



本学を辞めることを考えたことがある学生は、「真剣に考えたことがある(12%)」、「ふと考えたことがある(33%)」を併せ、約5割いる。

Q63. 大学を辞めようと思った理由(複数選択可)

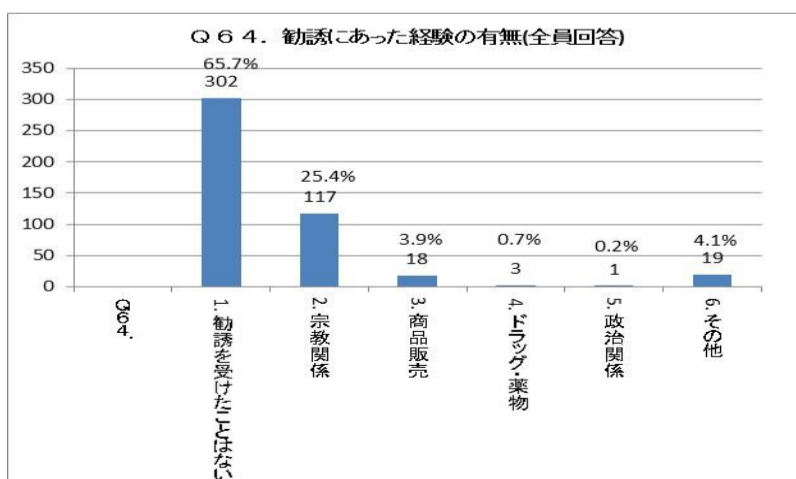
1. 学業問題	117	57.1%
2. 大学に興味を持てなくなった	43	23.4%
3. 学生生活の問題	37	21.0%
4. 進路変更のため	25	18.0%
5. 経済的な問題	48	17.1%
6. 家庭の問題	28	13.7%
7. 健康問題	13	12.2%
8. 人間関係	35	6.3%
計	346	205=100%



本学を辞めようと思った理由は、「学業問題(57.1%)」が5割超と最も高い。次いで、「経済的な問題(23.4%)」「大学に興味を持てなくなった(21%)」である。

Q64. 勧誘にあった経験の有無(全員回答)

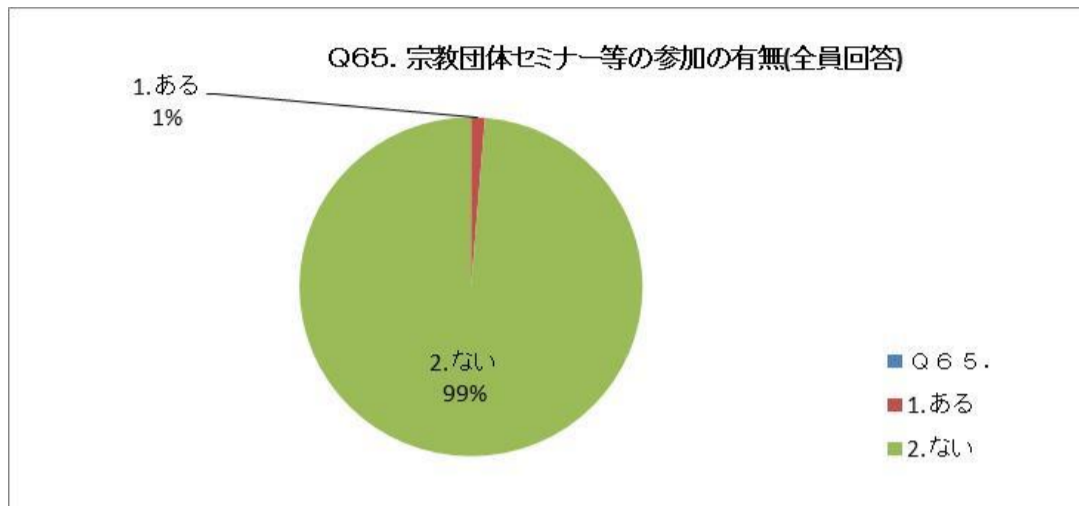
1. 勧誘を受けたことはない	302	65.7%
2. 宗教関係	117	25.4%
3. 商品販売	18	3.9%
4. ドラッグ・薬物	3	0.7%
5. 政治関係	1	0.2%
6. その他	19	4.1%
計	460	460=100%



65%の学生は何らかの勧誘を受けたことが無かった。勧誘を受けた者の中で宗教関係の勧誘が25%であった。それ以外の勧誘はごく少数である。

Q65. 宗教団体セミナー等の参加の有無(全員回答)

1. ある	6	1.3%
2. ない	454	98.7%
計	460	460=100%



ほとんどの学生が宗教団体セミナー等に参加したことは無いようである。

以上



「2015学生生活満足度調査」

■回答期限:平成27年9月19日(土)

■調査の目的

いわき明星大学の教育目標全人教育に基づいた、地域社会に貢献できる人の育成を達成するために、本学に籍を置く学生が大学生活で直面する諸課題を解決し、より快適なキャン

■調査対象

平成27年9月現在で在学する学部・大学院全学生対象。

■本調査で回答して頂いた情報は、上記目的に限定し使用します。

■分析結果の公表等においては、統計的に処理し回答者が特定されることはありません。

■不明な点がありましたら、教務学生支援センターまでお問い合わせください。

電話 0246-29-7118(直通) E-mail [gakusei@iwakimu.ac.jp](mailto:gakusei@iwakimu.ac.jp)

(1)基本項目

Q1. 性別(全員回答)

1. 男
2. 女

Q2. 学年(全員回答)

1. 1年
2. 2年
3. 3年
4. 4年
5. 5年
6. 6年

Q3. 出身高校種別(全員回答)

1. 公立・県立
2. 私立
3. 大検

Q4. 入試種別(全員回答)

入学試験の種別を選んでください。

1. AO入試
2. 推薦入試
3. 一般入試
4. センター試験利用入試

Q5. 住居種別(全員回答)

学生本人が現在住んでいる住居を選んでください。

家族と一緒にアパートに住んでいる場合は「1.自宅」を選択。

1. 自宅
2. アパート
3. 下宿
4. 避難先

Q6. 通学時間(全員回答)

1. 30分未満
2. 1時間未満
3. 1時間30分未満
4. 2時間未満
5. 2時間以上

Q7. 通学方法(全員回答・複数選択可)

1. 徒歩
2. 自転車
3. オートバイ
4. 自動車
5. 鉄道
6. バス
7. 家族の送迎

(2)本学の選択理由、満足度、期待要望

Q8. 大学進学理由(全員回答・複数選択可)

1. 興味や関心事の勉強のため
2. 資格や免許取得
3. 専門知識や技術習得
4. 学歴がほしい
5. 役立つ知識や技能修得
6. 人々との交流
7. 進学は当たり前
8. 先生や家族の勧め
9. 自分を変える
10. 自由な時間
11. やりたいことが不明確
12. その他

Q9. 本学入学理由(全員回答・複数選択可)

1. 学びたい学問分野がある
2. 資格や免許取得ができる
3. 資格合格率が高い
4. 入試難度が合っていた
5. 施設・設備が充実
6. 自宅通学できるから
7. 立地・環境がよい
8. 高校の先生の勧め
9. 教養教育が充実
10. 総合大学だから
11. 優秀な教員がいるから
12. クラブ活動が盛ん
13. 就職に有利だから
14. 入学後にコースを選択できるから
15. 友人家族の評判がよいから
16. 大学のイメージがよいから
17. 少人数教育が充実
18. 奨学金制度を利用したい
19. 自由時間が多い
20. 知名度が高い
21. 学費が安い
22. その他

Q10. 学生生活で力を入れていること(全員回答・複数選択可)

1. 専門的な勉強
2. 資格取得のための勉強
3. 友人との交流
4. クラブ・サークル活動
5. アルバイト
6. コミュニケーションスキル
7. 自己責任能力
8. 幅広い教養
9. 語学に関する勉強
10. コンピュータの勉強
11. 教員公務員対策
12. 就職活動
13. 社会活動
14. ボランティア活動
15. 文章作成能力向上
16. 論理的思考力向上
17. 教員との交流
18. 海外留学

Q11. 所属学部学科の満足度(全員回答)

1. 大変満足している
2. 満足している
3. どちらともいえない
4. 満足していない
5. まったく不満

Q12. 学内での学生生活の充実度(全員回答)

1. とても充実している
2. 充実している
3. 普通である
4. 充実していない
5. まったく充実していない

Q13. いわき明星大学に対する好意度(全員回答)

1. 好きである
2. どちらかといえば好きである
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば嫌いである
5. 嫌いである

Q14. いわき明星大学に対する満足度(全員回答)

1. たいへん満足
2. まあ満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. まったく不満

Q15. 学生生活に対する満足度(全員回答)

1. たいへん満足
2. まあ満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. まったく不満

Q16. 本学の教育内容・方法に対する期待要望(全員回答・複数選択可)

1. 資格取得制度の充実
2. 多様な科目選択
3. よくわかるシラバス
4. 単位認定制度の拡大
5. 専門教育カリキュラム
6. 少人数授業の徹底
7. 授業・必要単位の削減
8. オフィスアワー制度の充実
9. 教養科目の充実
10. セメスター制度
11. 転学部などを容易に

Q17. 本学の施設・サービスに対する期待要望(全員回答・複数選択可)

1. 学生食堂の充実
2. ブックセンターの充実
3. 売店(セブンイレブン)の充実
4. くつろげる場所の充実
5. 図書館学習センターの充実
6. スポーツ施設の充実
7. 授業料を安く
8. 進路指導の充実
9. 窓口対応の充実
10. インターンシップ制度の充実
11. 福利厚生 of 充実
12. トイレ・化粧室の充実
13. コンピュータ機器の充実
14. バリアフリーの充実
15. 喫煙所の充実
16. 自習室の充実
17. 掲示板をより見やすく
18. 構内の自転車通行を可能に
19. 学習センター1Fでの弁当販売

(3)経済状況

Q18. 学生本人の月々の収入(全員回答)

収入には仕送り、バイト代、奨学金、小遣い等すべて含んだ金額です。

1. なし
2. 2万円未満
3. 4万円未満
4. 6万円未満
5. 8万円未満
6. 10万円未満
7. 15万円未満
8. 15万円以上

Q19. 学生本人の月々の収入源(全員回答・複数選択可)

1. 家族からの仕送り等援助
2. アルバイト代
3. 奨学金
4. その他

Q20. 学生本人の月々の支出(全員回答)

1. 支出なし
2. 5千円未満
3. 1万円未満
4. 5万円未満
5. 10万円未満
6. 15万円未満
7. 15万円以上

Q21. 経済的な余裕(全員回答)

1. 余裕がある
2. やや余裕がある
3. ふつう
4. やや苦しい
5. 苦しい

Q22. 生活費の主たる負担者(全員回答)

1. 家族
2. 自分
3. その他

Q23. 家計における学費の負担感(全員回答)

1. 負担になっている
2. やや負担になっている
3. それほど負担になっていない
4. まったく負担になっていない
5. わからない

Q24. アルバイトについて(全員回答)

1. している(Q25, Q26へ)
2. していない

Q25. アルバイトの1週間の頻度(アルバイトしている人のみ)

1. 週3回以上
2. 週2回以下
3. 随時・不定期
4. 休日のみ
5. 長期休暇のみ

Q26. アルバイトの動機理由(アルバイトしている人のみ・複数選択可)

1. ほしい物の購入のため
2. 生活費・学費のため
3. 社会勉強のため
4. 楽しいから
5. 就職準備
6. 頼まれたから

Q27. 奨学金受給について(全員回答)

1. 受給している(Q28へ)
2. 受給していない(Q29へ)

Q28. 受給している奨学金について(奨学金受給者のみ・複数選択可)

1. 日本学生支援機構
2. いわき明星大学奨学金
3. いわき明星大学スカラーシップ奨学金
4. いわき明星大学修学支援緊急奨学金
5. 明星大学ファミリー奨学金
6. いわき明星大学勤労奨学金
7. 地方公共団体奨学金
8. 民間育英団体奨学金
9. 民間企業奨学金

Q29. 奨学金制度への要望(全員回答・3つ以内で選択)

1. 手続きの簡素化
2. 支給金額増額
3. 支給人数の拡大
4. 家計基準の見直し
5. 制度の内容を知らない
6. 経済状況の適正な評価
7. 返還のない奨学金の充実
8. 成績基準の見直し
9. 困窮度の重視
10. 特になし

Q30. 奨学金を受給していない理由(奨学金受給していない人のみ・複数選択)

1. 受ける必要がない
2. 考えたことがない
3. 返済義務があるから
4. 手続きがわからない
5. 家計基準に合わなかった
6. 応募機会を逃した
7. 成績基準に合わなかった
8. 採用されなかった

(4)学生生活

Q31. 喫煙していますか(全員回答)

1. はい
2. いいえ

Q32. 喫煙マナーについて(全員回答)

1. 学内全面禁煙
2. 分煙の徹底
3. 喫煙所の拡大

Q33. 1週間の授業以外での勉強時間(全員回答)

1. 0分
2. 30分以内
3. 1時間以内
4. 2時間以内
5. 3時間以内
6. 4時間以内
7. 5時間以内
8. 5時間以上

Q34. 1週間のアルバイト時間(全員回答)

1. していない
2. 10時間以内
3. 20時間以内
4. 30時間以内
5. 40時間以内
6. 40時間以上

Q35. 現在最も興味関心があること(全員回答・複数選択可)

1. 資格取得
2. 大学の勉強
3. アルバイト
4. 友人との交際
5. 委員会部活動
6. 就職活動
7. 恋愛
8. 美容・ファッション
9. パソコン
10. ボランティア
11. スポーツ
12. 旅行
13. 留学
14. 車・バイク
15. 健康
16. 大学院進学
17. 宗教活動
18. ゲーム

Q36. 本学学生のモラル倫理観の印象(全員回答)

1. とても高い
2. やや高い
3. 普通
4. やや低い
5. きわめて低い

Q37. 本学学生のモラルについて気になる点(全員回答・複数選択)

1. 授業態度
2. ゴミのポイ捨て
3. 出席管理システムの不正利用
4. 言葉遣い・服装
5. カンニング
6. 携帯スマホの使用
7. 廊下や地面の座り込み
8. 挨拶をしない
9. 高齢者・障がい者への配慮
10. 迷惑駐車
11. その他

Q38. パソコンの保有(全員回答)

1. 自分のパソコンを持っている
2. 持っていない

Q39. 携帯電話の保有について(全員回答)

1. スマートフォンを持っている
2. 携帯電話(ガラケー)を持っている
3. 持っていない

Q40. タブレットの保有について(全員回答)

1. 持っている
2. 持っていない

(5)課外活動

Q41. 課外活動参加の有無(全員回答)

学友会・部活動・サークル活動の参加の有無です。

1. 参加している(Q42～Q46へ)
2. 参加していたが辞めた(Q47へ)
3. 参加していない(Q47へ)

Q42. 課外活動参加頻度(課外活動参加者のみ)

1. 積極的に参加
2. 参加しているがあまり熱心でない
3. 登録しているが活動はしていない

Q43. 参加課外活動種別(課外活動参加者のみ・複数選択)

1. 学友会委員会
2. 体育会各団体
3. 文化団体連盟各団体
4. 体育会同好会
5. 文化団体連盟同好会
6. 体育系愛好会
7. 文化系愛好会
8. 大学外の団体

Q44. 1週間の課外活動時間(課外活動参加者のみ)

1. 0分
2. 30分以内
3. 1時間以内
4. 2時間以内
5. 3時間以内
6. 4時間以内
7. 5時間以内
8. 5時間以上

Q45. 参加課外活動団体名(課外活動参加者のみ・複数記入可)

Q46. 授業との両立について(課外活動参加者のみ)

1. うまく両立している
2. まあまあ両立している
3. どちらともいえない
4. あまり両立していない
5. 両立していない

Q47. 参加していない理由(課外活動参加していない人のみ・複数選択)

1. 入りたいクラブがない
2. アルバイトと両立できない
3. 勉強と両立できない
4. なんとなく
5. 遠距離通学だから
6. 興味・関心がない
7. 入部前のイメージと違ったから辞めた
8. 費用がかかりすぎる
9. 人間関係
10. 学外講座等で時間がない
11. 勉強と両立できない
12. 健康上の理由
13. その他

Q48. 学友会活動への関心度(全員回答)

1. 大いに関心をもっている
2. まあ関心をもっている
3. あまり関心がない
4. まったく関心がない

Q49. 学園祭への関心度(全員回答)

1. 大いに関心をもっている
2. まあ関心をもっている
3. あまり関心がない
4. まったく関心がない

Q50. ボランティア活動への参加経験(全員回答)

1. 参加している・したことがある(Q51, Q52へ)
2. 参加したことはないが機会があれば参加したい
3. 参加したことはない、これからも参加しない

Q51. 参加したボランティア活動(ボランティア参加者のみ)

1. 児童福祉関係
2. 障がい者関係
3. 地域活性化
4. 環境保全
5. 高齢者福祉関係
6. 国際交流・協力
7. 震災復興関連
8. 防犯関係
9. 医療・保健関係
10. その他

Q52. ボランティア活動へ参加している理由(ボランティア参加者のみ・2つ以内で選択)

1. 社会勉強のため
2. 友人に誘われて
3. 自分を試したかった
4. 参加している団体の活動
5. 大学生活を充実させるため
6. 困った人を助けたいから
7. 就職に役立てるため
8. 教職員からすすめられた
9. 環境保全や文化財保護のため
10. 授業だったから
11. 宗教上の理由から
12. その他

(6)進路就職

Q53. 就職進路についての不安(全員回答・複数選択可)

1. 現状の能力の不安
2. 就職自体が不安
3. 就職できるか不安
4. 適性職業を選べるか不安
5. 就職先の人間関係が不安
6. 就職活動時期の不安
7. 規則正しい生活ができるか不安
8. 拘束に耐えられるか不安
9. 自分の生き方が貫けるのか不安
10. 進学したいが将来が不安
11. 不安を感じたことはない
12. その他

Q54. 希望進路(全員回答・2つ以内で選択)

1. 民間企業・団体
2. 教育・研究職
3. 公務員
4. 専門職
5. 大学院進学
6. 自由業
7. 自営業
8. 留学
9. 専門学校進学
10. フリーター
11. わからない、決めていない
12. 就職しない
13. その他

Q55. 職業選択で重視する点(3つ以内で選択)

1. 仕事のやりがい
2. 興味が持てる
3. 収入
4. 学んだ専門が活かせる
5. 業績が安定している
6. 勤務地
7. 社会・公共への貢献度
8. 休暇が多い
9. 社会的評価
10. 転勤がない
11. 出世ができる
12. 独立して仕事ができる
13. 海外勤務がある
14. 先端的分野
15. その他

Q56. 就職希望地(就職・進学希望者・複数選択可)

進学希望者はその後の就職を想定

1. いわき市
2. いわき市以外の福島県内
3. 福島県以外の東北地方
4. 茨城県
5. 東京都
6. それ以外の道府県
7. 場所はこだわらない

(7)不安悩み

Q57. 友人の数(全員回答)

1. 5人以上
2. 3~4人
3. 1~2人
4. いない

Q58. 友人とのつきあい方(全員回答)

1. 浅く広くより、少数の友人との深いつながりを大事にしている
2. 少数の友人より、多方面の友人といろいろな交流するほうだ
3. どちらともいえない

Q59. 不安や悩みの有無(全員回答)

1. ある(Q60, Q61へ)
2. ない

Q60. 不安や悩みの内容(該当者のみ・複数選択可)

1. 就職や将来の不安
2. 勤勉上の問題
3. 自分の性格
4. 友人等との人間関係
5. 経済問題
6. アルバイトや仕事の問題
7. クラブやサークル活動の問題
8. 進級・卒業の単位不足
9. 異性や性の問題
10. 家族や家庭内の問題
11. 健康上の問題



Q61. 不安や悩みの相談相手(該当者のみ・2つ以内で選択)

1. 友人・恋人
2. 自分で考える
3. 保護者
4. なりゆきにまかせる
5. 先輩
6. 相談する相手がいない
7. 大学の教員
8. 大学の職員
9. 兄弟姉妹
10. 学生相談室や保健管理室
11. 医師
12. ネット友達

Q62. 大学を辞めようと思ったことがあるか(全員回答)

1. 真剣に考えたことがある(Q63へ)
2. ふと考えたことがある(Q63へ)
3. 考えたことはない

Q63. 大学を辞めようと思った理由(該当者のみ・複数選択可)

1. 学業問題
2. 大学に興味を持てなくなった
3. 学生生活の問題
4. 進路変更のため
5. 経済的な問題
6. 家庭の問題
7. 健康問題
8. 人間関係

Q64. 勧誘にあった経験の有無(全員回答)

1. 宗教関係
2. 商品販売
3. 政治関係
4. ドラッグ・薬物
5. その他
6. 勧誘を受けたことはない

Q65. 宗教団体セミナー等の参加の有無(全員回答)

1. ある
2. ない

以上、ご協力ありがとうございました。